本省	海軍省所管
俸給	俸給及諸給
	廳費
	下士卒被服費
	旅費
	移住費
	囚徒費
	營繕費
	某城砦建築費
款	城砦建築費過年度支出

府	鎮守
諸給	俸給及諸給
廳費	廳費
下士卒被服費	下士卒被服費
旅費	旅費
囚徒費	徵兵檢閱費
外國留學生費	囚徒費
主計生徒費	
外國語學生費	
營繕費	
機密費	

軍醫本部及病院	軍艦及屯營費
俸給	營繕費
諸給	機密費
廳費	
藥品費	
下士卒被服費	
軍醫生徒費	
旅營繕費	
石炭費	
廳費	
諸給費	
俸給	

兵學校	兵器及水雷費	造船費
俸給及諸給	俸給	旅航海費
旅營繕費	諸給	艦船購買費
下士卒被服費	廳費	艦船修理費
水雷費	兵器彈藥費	艦船備品費

文部省所管

項	本	東京大學
俸給	款	
諸給		
廳費		
旅費		
外國留學生費		
音樂生徒費		
褒賞費		
編書費		
標本費		
圖書費		
繕寫費		
俸給及諸給		

明治十八年六月第三十一號達ヲ以テ音樂傳習生徒費ヲ音樂生徒費ト改メ編書費ノ次ニ二項ヲ追加シ東京學士會院ノ一款二項及東京法學校以下九款三十四項ヲ削除シ東京大學ノ次ニ專門教育費ノ二款五項ヲ追加及普通教育費ノ二款五項ヲ追加ス

機關學校	金額
扶助過年度支出	
校費	
學生費	
下士卒被服費	
旅費	
繕寫費	
俸給及諸給	
校費	
學生費	
下士卒被服費	
旅費	
繕寫費	
家族扶助金	

專門教育費	校費 旅費 學生費 營繕費
普通教育費	俸給及諸給 校費 旅費 學生費 營繕費
過年度支出	俸給及諸給 校費 旅費 學生費 營繕費

農商務省所管

本省	項	
欵	俸給	
山林局	諸給	
	廳費	
	農事試驗費	
	水產物試驗費	（明治十八年九月第五十三號ヲ以テ水產物試驗費ノ一項ヲ追加ス）
	旅費	
	營繕費	
	俸給	
	諸給	
	廳費	

驛遞局
- 俸給
- 諸廳給費
- 旅費
- 營繕費

郵便費
- 山林蕃殖費
- 旅費
- 營繕費
- 俸給
- 諸廳給費
- 郵便切手類製造費（郵便切手類賣下手數料）
- 萬國郵便聯約費
- 切手類買戻金（明治十八年九月第五十三號達ヲ以テ切手類買戻金ノ一項ヲ追加）
- 旅費
- 營繕費
- 俸給
- 諸給費

北海道事業管理局
- 郵便取扱役諸費
- 集配遞送費
- 馬匹費
- 郵便用器具費
- 郵便爲替金取扱費
- 貯金取扱費
- 旅費
- 營繕費
- 俸給
- 諸給費

駒場農學校
- 農工事業費
- 旅費
- 營繕費
- 俸給及諸給

札幌農學校
東京山林學校
東京商業學校

校費及諸給
學生旅費
營繕費
俸給及諸給
校費及旅費
學生費
營繕費
俸給及諸給
校費及旅費
學生費
營繕費

東京商船學校
博覽會及共進會費
北海道殖民費
補助費
過年度支出

俸給及諸給
校費及旅費
學生費
營繕費
某博覽會費
某共進會費
移住人費
航海費補助
農工業費補助
學校費補助

工部省所管

款	項
本省	俸給
	諸廳俸給費
	旅費
	外國留學生費
	營繕費
燈臺局	俸給
	諸廳俸給費
	旅費
	船舶費
	營繕費

工部大學校過年度支出

款	項
燈臺及諸標營繕費	俸給及諸費
	校費
	旅費
	學生費
	營繕費

司法省所管

款	項
本省	俸給
	諸廳俸給費

大審院	控訴裁判所	始審及治安裁判所
旅費	旅費	旅費
法學生徒費	法學生徒費	法學生徒費
營繕費	營繕費	營繕費
俸給	俸給	俸給
諸廳及旅費	諸廳及旅費	諸廳及旅費
機密費	機密費	機密費
營繕費	營繕費	營繕費
俸給	俸給	俸給

（明治十八年六月第三十一號達ヲ以テ始審裁判所トアルヲ始審及治安裁判所ト改メ治安裁判所ノ一款五項削除）

過年度支出	元老院	欵老院
諸廳旅費		俸給
機密費		諸廳旅費
營繕費		營繕費
給費	項	給費

過年度支出

會計檢查院

款

會計檢查院

過年度支出

項

俸給

諸給

廳費

旅費

營繕費

東京府所管

百八十

款

本廳

警察費

營繕土木費

地方費

項

俸給及諸給

廳費

旅費

恩賞及救助費

難破船及海員取扱費

獸疫費

地方稅連帶支辨金

皇城外郭地修繕費

外國人居留地修繕費

小笠原島警察費

小笠原島出張所營繕費

小笠原島教育補助費

過年度支出

小笠原島勸業費
小笠原島監獄費

大阪府所管

本款 警察費 廳

項 俸給及諸給費
廳費
旅費
恩賞及救助費
難破船及海員取扱費
獸疫費
地方稅連帶支辨金

營繕土木費

過年度支出

外國人居留地修繕費

神奈川縣所管

本款 警察費 廳

項 俸給及諸給費
廳費
旅費
恩賞及救助費
難破船及海員取扱費
獸疫費
船舶費

營繕土木費	地方稅連帶支辨金
	外國人居留地取締費
	外國人居留地修繕費
	橫濱公園保存費
	橫濱揮發物倉庫營繕費
過年度支出	

兵庫縣所管

本款廳	項
	俸給及諸給
	廳費
	旅費
	恩賞及救助費

警察費	難破船及海員取扱費
	獸疫費
營繕土木費	地方稅連帶支辨金
	外國人居留地取締費
過年度支出	外國人居留地修繕費

長崎縣所管

本款廳	項
	俸給及諸給
	廳費
	旅費

新潟縣所管

款	項
本廳	俸給及諸給費
	廳費
	旅費
警察費	恩賞及救助費
	難破船及海員取扱費
	獸疫費
營繕土木費	地方稅連帶支辨金
過年度支出	外國人居留地修繕費

款	項
警察費	恩賞及救助費
	難破船及海員取扱費
	獸疫費
	船舶費
營繕土木費	地方稅連帶支辨金
過年度支出	外國人居留地取締費
地方費	外國人居留地修繕費
	長崎港浚渫費
	長崎朝鮮人宿泊所營繕費
警察費	嚴原警察費
	嚴原警察署營繕費

函館縣所管

款	項
本廳	營繕土木費
	地方費補給
	過年度支出
本廳	俸給及諸給
	廳費
	旅費
	恩賞及救助費
	難破船及海員取扱費
	獸疫費
	外國人居留地修繕費

款	項
本廳	俸給及諸給費

所管

京都府　千葉縣　茨城縣　栃木縣　群馬縣
三重縣　愛知縣　靜岡縣　埼玉縣
山梨縣　滋賀縣　岐阜縣
長野縣　宮城縣　福島縣
岩手縣　青森縣　山形縣
秋田縣　福井縣　石川縣
富山縣　鳥取縣　島根縣
岡山縣　廣島縣　山口縣
和歌山縣　德島縣　愛媛縣
福岡縣　大分縣　佐賀縣
熊本縣　宮崎縣　鹿兒島縣

高知縣所管

款	項
本廳	
警察費	
過年度支出	
	旅費
	恩賞及救助費
	難破船及海員取扱費
	獸疫費
	地方税連帶支辨金

款	項
本廳	
	俸給及諸給
	廳費
	旅費
	恩賞及救助費

札幌縣
根室縣 所管

款	項
本廳	
警察費	
過年度支出	
	難破船及海員取扱費
	獸疫費
	地方税連帶支辨金
	特別警察費

款	項
本廳	
	俸給及諸給
	廳費
	旅費
	恩賞及救助費

本款	項	目
沖繩縣所管	俸給及諸給廳費	
	旅費	
	恩賞及救助費	
	難破船及海員取扱費	
	獸疫費	
	士族授產費	
	難破船及海員取扱費	
	獸疫費	
地方費過年度支出補給		
	難破船及海員取扱費	
	獸疫費	

地方費過年度支出	
	警察費
	土木費
	營繕費
	衛生費
	病院費
	某學校費
	教育補助費
	役所費
	教育費
	浦役場及難破船諸費
	諸達書及揭示諸費
	勸業費
	役場費
	監獄費
	地役人諸給

第四部

假皇居御造營費

款

項

建築費

事務局費

民法編纂費

款

項

俸給及諸給

過年度支出

廳費及營繕費

○明治十八年十一月太政官第六十一號達

本年三月第十三號達歲入出科目表中左ノ通追加候條此旨相達候事

第三部歲出科目鹿兒島縣所管經費科目中警察費ノ次ニ「地方費」ノ一款ヲ置キ款中「金久警察費」ノ一項ヲ設ク

○第五節　歲入歲出出納規則　明治十九年三月閣令第三號

歲入歲出出納規則左ノ通制定シ來ル十九年度ヨリ施行ス

歲入歲出出納規則

第一章　總則

第一條　此規則ニ揭クル歲入トハ每年裁定セラレタル豫算ニ據リ國庫常用部ヘ收入スル所ノモノヲシテ分テ二部トス但特別ノ收入ニシテ整理上部門ヲ分ツヲ必要トスル件ハ之ヲ加フルコトアルヘシ

第一部　租稅

第二部　手數料ノ性質ヲ以テ徴收スル諸收入、官有ノ財産物品ヨリ生スル諸收入、官業益金、罰金科料沒收金ノ類諸貸付若ハ過渡等ノ返納金、特別ノ事務ニ宛ル諸寄付金等總テ租稅外ノ收入

第二條　此規則ニ揭ル歲出トハ毎年裁定セラレタル豫算ニ據リ國庫常用部ヨリ支出スル所ノモノニシテ分テ三部トス但特別ノ經費ニシテ整理上部門ヲ分ツヲ必要トスルトキハ之ヲ加フルコトアルヘシ

第一部　國債元利、年金、恩給、諸祿ノ類

第二部　帝室御用度、神社ノ諸費

第三部　各廳ノ經費

第三條　此規則ニ於テ納入ト稱スルハ戶長、各納稅者、其他政府ニ對シ仕拂ノ義務ヲ有スル者ヲ云

第四條　此規則ニ於テ受取人ト稱スルハ官吏、會社、一私人ノ別ナク總テ政府ヨリ仕拂ヲ受クヘキ權利ヲ有スル者ヲ云

第五條　此規則ニ揭ル金庫トハ大藏省金庫局其出張所及國庫金取扱所若クハ現金仕拂所ヲ云

第六條　金庫ノ出納ハ臨時急施ヲ要スルモノヲ除クノ外總テ大藏大臣ノ指定スル開庫時間ニ限ル

第七條　此規則ニ稱スル收支命令官トハ明治十四年第三十六號達及特別ノ制規ニ據リ定メタル金錢物品收支命令ノ權ヲ有スル當該官ヲ云

分任收支命令官トハ同達ニ據リ收支命令ノ權ヲ分任セラレタル當該官ヲ云

第八條　帝室御用度ハ內藏頭ノ請求ニ依リ現金ヲ內藏寮ヘ交付シ其出納ハ別段ノ規則ニ據ルモノトス

第二章　出納ノ開閉

第九條　一會計年度（毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄）ニ屬スル歲入歲出ハ第十條第十二條第十二條ノ場合ヲ除キ總テ毎年四月一日ヲ以テ開始ス

第十條　特別ノ制規ニ據リ俸給等ノ前渡ヲ要スルトキハ出納ノ開始前ニ於テ支出ヲ爲スコトヲ得

第十一條　在外各廳ノ經費現金仕拂所ナキ地方各廳ノ經費、外國派出官吏及留學生等ノ經費送付ノ爲メ前年度十二月一日以降特ニ支

出ヲ爲スコトヲ得

第十二條　前二條ノ外旅費手當ノ如キ支給ノ方法ニ由リ前年度內ニ支出スルノ必要ナルモノアルトキハ出納開始前ニ支出ヲ爲スコトヲ得

第十三條　各廳ニ於テ會計年度內ニ於テ歲出ノ仕拂ヲ結了セサルモノハ整理ノ爲メ翌年度八月三十一日マテ該會計年度ニ屬スル支出ヲ爲スコトヲ得

第十四條　在外各廳及現金ヲ出納スル各廳ハ三月三十一日以後ハ該會計年度ニ屬スル收支ヲ執行スルコトヲ得ス但概算支出ノ精算ノ爲メニ必要ナルトキハ翌年度五月三十一日マテ特ニ收支ヲ爲スコトヲ得

第十五條　金庫ニ於テハ每年度會計整理ノ爲メ翌年度十一月三十日マテ出納ヲ爲スコトヲ得

第三章　歲入

第十六條　歲入ニ係ル現金ノ收納ハ總テ大藏大臣之ヲ管理シ各廳ノ收支命令官ハ其徵收ヲ監理シ現金ハ直ニ金庫ニ收納スルモノトス但左ニ揭クル各項ノ收入ハ現金ヲ各廳ニ收納スルコトヲ得

第一項　郵便收入

第二項　電信收入

第三項　公賣處分ニ依リ收入スル稅金過料沒收金手數料ノ類

第四項　在外各廳ノ收入金

第五項　諸寄付金ノ類

第十七條　前條但書ノ外臨時非常ノ場合若クハ特別避クヘカラサル場合ニ於テハ現金ヲ各廳ニ收納スルコトヲ得但其場合ニ於テハ即時其旨ヲ收支命令官ヨリ大藏大臣ニ報告スヘシ

第十八條　歲入ハ徵稅令書若クハ納額告知書ヲ發シテ之ヲ徵收スルモノトス但第十六條但書ノ收入ニシテ各廳ニ現金ヲ收納スルトキハ此限ニアラス

第十九條　第一部歲入中內國稅ヲ徵收スルトキハ北海道廳長官若クハ府知事縣令ノ命令ニ據リ郡區長ヨリ戶長若クハ各納稅者ニ對シ徵稅令書ヲ發スルモノトス

第二十條　戶長ハ徵稅令書ヲ受タルトキハ其町村一人別納額元帳ニ據リ各納稅者ニ徵稅傳令書ヲ發スルモノトス

第二十一條　第一部歲入中關稅及第二部歲入中稅關ノ諸收入ヲ徵收

スルトキハ大藏大臣ノ命令ニ據リ稅關長ヨリ各納人ヘ納額告知書ヲ發スルモノトス

第二十二條　第二部歲入（稅關ノ諸收入ヲ除ク）ヲ徵收スルトキハ各廳ノ收支命令官ノ命令ニ據リ會計主務官ヨリ各納人ヘ納額告知書ヲ發スルモノトス

第二十三條　第一部歲入中納期ヲ豫定シタルモノハ納期ノ十五日以前納期日ノ數日ニ渉ルモノハ其ニ其隨時納期ヲ定ムルモノハ其都度徵稅令書若クハ納額告知書ヲ發スヘシ但納期ヲ豫定シタルモノト雖モ稅則ニ因リ十五日ノ猶豫ナキモノハ此限ニアラス

第二十四條　戶長ハ徵稅令書ヲ受領シタルトキハ納期日以前ニ各納稅者ニ徵稅傳令書ヲ發シ稅金ヲ取纏ムヘシ

第二十五條　第二部歲入中納期ヲ豫定シタルモノハ納期ノ十日以前ニ其隨時納期ヲ定ムルモノハ其都度納額告知書ヲ發スルモノトス

第二十六條　關稅稅關ノ諸收入及物品ヲ以テ徵收スルモノ又ハ第十六條但書ニ屬スルモノヲ除キ其他ノ歲入ハ總テ納人ヲシテ現金ヲ金庫ニ納付セシムヘシ

第二十七條　第十六條但書ノ第一項第二項第三項及第十七條ノ如キ各廳ニ現金ヲ收納スルモノハ每日之ヲ取纏メ歲入ノ各日ニ區別シタル納付書ヲ添ヘ翌日マテニ其取扱主任官ヨリ金庫ヘ納付スヘシ但金庫ニ遠隔ナル地方ノ各廳ニ收納スル現金納付ノ方法ハ大藏大臣特ニ之ヲ定ムヘシ

第二十八條　第二十六條ニ據リ納人ヲシテ現金ヲ金庫ニ納付セシムルニハ同時ニ徵稅令書若クハ納額告知書ヲ持參セシムヘシ

第二十九條　金庫ニ於テ納人ヨリ歲入ヲ領收スルトキハ其持參シタル徵稅令書若クハ納額告知書ニ領收ノ證ヲ記シ之ヲ納人ニ交付スヘシ但第二十七條ノ場合ニ於テハ納付書ニ領收ノ證ヲ記シ還付スルモノトス

第三十條　戶長ニ於テ取纏メタル稅金ハ翌日マテニ之ヲ金庫ニ納付スヘシ但相當ノ保護法ヲ設クルトキハ納期前ニ限リ一千圓以下五百圓マテハ五日間五百圓未滿ハ七日間之ヲ其役場ニ留ムルコトヲ得

第三十一條　關稅及稅關ノ諸收入ハ納人ヨリ現金ヲ金庫ニ預ケシメ其預リ證書ヲ以テ稅關ヘ納付セシムヘシ

第三十二條　稅關長ハ其領收シタル關稅及稅關ノ諸收入ヲ取纏メ每

月三回之ヲ金庫ヘ送納スヘシ

第三十三條　各廳ノ收支命令官ハ歲入ノ過納誤納若クハ印紙類ノ返納ニ由リ既納ノ歲入下戻ヲ要スルトキハ其事由ヲ具シ其拂戻ヲ大藏大臣ニ請求スヘシ

第三十四條　物品ヲ以テ歲入ヲ徵收スル方法ハ別ニ之ヲ定ム

第四章　歲出

第三十五條　歲出ニ係ル現金ノ仕拂ハ總テ大藏大臣之ヲ管理シ其所管金庫ニ於テ仕拂ヲ執行スルモノトス但左ニ揭ク各項ノ經費ハ各廳ノ請求ニ依リ大藏大臣ハ現金ヲ各廳ニ交付スルコトヲ得

第一項　在外各廳ノ經費

第二項　陸軍ノ行軍費

第三項　海軍ノ航海費

第四項　外國ニ於テ使用スル各廳ノ經費

第五項　燈臺巡回船ノ航海費

第六項　機密費

第七項　運輸通信ノ便少ナキ島嶼其他金庫ノ設置ナキ地方ニ在ル各廳ノ經費

第三十六條　前條但書ノ外臨時非常ノ場合若クハ特別避クヘカラサル場合ニ於テハ大藏大臣ハ現金ヲ各廳ニ交付スルコトヲ得

第三十七條　每年豫算ノ裁定アルトキハ各廳ノ收支命令官ハ一週年度中ニ係ル經費ノ月額ヲ豫定シ仕拂場所ノ仕譯書ヲ製シ豫算裁定ノ達ヲ受タル後十五日以內ニ之ヲ大藏大臣ヘ送付シ其承認ヲ受ケヘシ但其支出期節ノ豫定シ難キモノ及第一部第二部歲出ハ此限ニアラス

第三十八條　前條歲出仕譯書ノ承認ヲ受タル後期節若クハ金額ノ變更ヲ要スルトキハ更ニ大藏大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第三十九條　第三十七條但書中支出期節ノ豫定シ難キモノハ其支出ヲ要スル每ニ大藏大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第四十條　各廳ノ收支命令官ハ第三十七條第三十八條第三十九條ノ承認ヲ受タル後ニアラサレハ支出ヲ命令スルコトヲ得ス但每會計年度ノ初メ一箇月分（每年四月分）ハ各目ノ豫算金額十二分ノ一ニ超エサレハ承認ヲ受ケサルモ支出ヲ命令スルコトヲ得

第四十一條　各廳ニ於テ支出スル所ノ經費ハ第三十五條但書第三十六條ノ場合ヲ除キ總テ仕拂切符ヲ以テ之ヲ仕拂フモノトス

第四十二條　前條ノ經費ヲ仕拂フトキハ收支命令官ノ命令ニ依リ會計主務官ハ各受取人ニ對シ仕拂切符ヲ發シテ之ヲ交付スルモノトス

第四十三條　仕拂切符ハ一日毎ニ之ヲ發シ數目ヲ合スルコトヲ得ス

第四十四條　仕拂切符ノ仕拂期限ハ振出ノ日ヨリ滿九十日ヲ超ユヘカラス

第四十五條　仕拂切符ハ會計主務官ハ其切符ヲ發付シタル金庫ヘ案內書ヲ發スヘシ

同時ニ該仕拂切符ニ指名シタル金庫ヘ案內書ヲ發スヘシ

第四十六條　仕拂切符ニ指名セラレタル金庫ハ其切符持參人ニ對シテ即時ニ表面ノ金額ヲ仕拂フモノトス但仕拂切符ノ日付後九十日ヲ過キタルモノハ第四十七條第四十八條ニ據リ之ヲ處分スヘシ

第四十七條　金庫ニ於テ仕拂切符ノ日付後九十日ヲ過キタルモノヲ發見シタルトキハ該仕拂切符所有者ヲシテ其發行廳ニ仕拂切符ノ交換ヲ請求セシムヘシ

第四十八條　各廳ハ前條ノ請求ヲ受ルトキハ更ニ仕拂切符ヲ發シテ之ヲ交付スルモノトス

第四十九條　金庫ハ仕拂ヲ請求セラレタル仕拂切符若シ成規ニ違フコトアルカ若クハ案內書ト符合セサルコトアリト認ムルトキハ其事由ヲ該仕拂切符持參人ニ告ケ預リ證書ヲ發シテ該切符ヲ留置キ即時ニ其旨ヲ該切符ニ記名ノ會計主務官ニ通牒スヘシ

第五十條　前條ノ場合ニ於テ金庫ハ會計主務官ニテ仕拂切符又ハ案內書ヲ訂正スルカ若クハ其切符ノ正當ナルヲ保證スルニアラサレハ之ヲ仕拂フコトヲ得ス

第五十一條　第三十五條ノ第一項第四項第七項ノ經費金遞送ヲ要スルトキハ各主管廳ノ收支命令官ヨリ請求書ヲ大藏大臣ヘ送付シテ送金ヲ請求スヘシ

第五十二條　前條ノ經費ハ一回ニ年額四分ノ一以內ヲ交付スルモノトス但臨時ノ費途ニシテ一時ニ支出ヲ要スルモノハ此限ニアラス

第五十三條　豫算ノ裁定前ニ於テ第五十一條ノ經費發送ヲ要スルトキハ前年度ノ豫算額ニ據リ送付ノ金額ヲ定ムルモノトス但臨時ノ費途ハ此限ニアラス

第五十四條　大藏大臣ハ第五十一條ノ請求ヲ受クルトキハ金庫ヲシテ一箇月以內ニ其指定セラレタル出納主任官ヘ現金ヲ發送セシムルモノトス

第五十五條　第三十五條ノ第二項第三項第五項第六項ノ經費金ヲ受取ントスルトキハ各主管廳ノ收支命令官ハ請求書ヲ大藏大臣ヘ送付シ其交付ヲ請求スヘシ

第五十六條　大藏大臣ハ前條ノ請求ヲ受クルトキハ金庫ヲシテ其指定セラレタル出納主任官ヘ現金ヲ交付セシムルモノトス

第五十七條　各廳ノ收支命令官ハ第十二條ノ支出ヲ爲サントスルトキハ事由ヲ具シテ其仕拂ヲ大藏大臣ニ請求スヘシ

第五十八條　各廳ノ本廳外ノ地ニ在ル小支部局若クハ出張官吏等ヘ經費金ヲ遞送セントスルトキハ會計主務官ヨリ仕拂切符ヲ發シ金庫ヘ送付シ送金ヲ請求スヘシ

第五十九條　國庫常用部ヨリ會計ノ取扱ヲ異ニスルモノヘ支出スル經費ハ主管廳ノ請求ニ據リ大藏大臣ハ直ニ金庫ヨリ現金ヲ仕拂ハシムルモノトス

第六十條　國債元利ノ仕拂ヲ爲ストキハ大藏大臣ハ其豫定金額ヲ北海道廳府縣廳ヘ達シテ其仕拂ヲ執行セシムルモノトス但銀行ヲシテ取扱ハシムル國債元利ノ仕拂ハ其取扱銀行ヘ金額ヲ交付シテ之ヲ執行セシムル

第六十一條　國庫常川部ヨリ國庫中他ノ部（準備部ノ類）ヘ支出スルモノハ裁定ノ豫算ニ基キ大藏大臣ノ命令ニ據リ直ニ之ヲ移スモノトス

第六十二條　各廳ノ收支命令官ハ會計年度經過後ニ於テ其會計年度ノ支出ニ屬スヘキ契約ヲ爲スコトヲ得ス

第六十三條　各廳ニ於テ既ニ仕拂タル金額ノ內返納ヲ要スルトキ若クハ第二十五條但書及第三十六條ニ據リ現金ヲ受取リ仕拂殘餘アルトキハ即日之ヲ金庫ヘ納付シ廳中ニ留ムルコトヲ得ス但三十五條第一項第七項ノ場合ハ此限ニアラス

第六十四條　金庫ハ大藏大臣ノ命令ヲ受クルニアラサレハ一切仕拂ヲ執行スルコトヲ得ス

第五章　報告

第六十五條　每年豫算ノ裁定アルトキハ各廳ノ收支命令官ハ一週年度中ニ係ル歲入ノ月額豫算表ヲ製シ豫算裁定ノ達ヲ受タル後十五日以內ニ之ヲ大藏大臣ヘ報告スヘシ但收入期節ノ豫定シ難キモノハ此限ニアラス

第六十六條　郡區長ハ第十九條ニ據リ徵稅令書ヲ發シタルトキハ之ヲ北海道廳長官若クハ府知事縣令ヘ報告スヘシ

第六十七條　北海道廳長官府知事縣令ハ前條郡區長ノ報告ニ據リ其徵稅額表ヲ製シ納期ヲ豫定シタル租稅ハ徵稅令書發付後十五日以內ニ隨時納期ヲ定ムルモノハ每月取纏メ翌月十五日マテニ之ヲ大藏大臣ヘ報告スヘシ

第六十八條　金庫ハ各納入ヨリ收入金ヲ領收シタルトキハ每日之ヲ其徵稅令書若クハ納額告知書ヲ發シタル廳ヘ報告スヘシ但官廳ヨリ收入金ヲ領收シタルトキハ此限ニアラス

第六十九條　稅關長ハ第三十二條ニ據リ關稅及稅關ノ諸收入ヲ送付スルトキハ同時ニ之ヲ大藏大臣ヘ報告スヘシ

第七十條　各廳ノ收支命令官ハ每月其徵收セシメタル歲入ノ報告書ヲ製シ翌月十五日マテニ之ヲ大藏大臣ヘ送付スヘシ但關稅及稅關ノ諸收入ハ此限ニアラス

第七十一條　各廳ノ收支命令官ハ每月其支出セシメタル歲出ノ報告書ヲ調製シ翌月七日マテニ之ヲ大藏大臣ヘ送付スヘシ

第七十二條　在外各廳ノ分任收支命令官ハ每會計年度初月ヨリ三箇月每ニ歲出報告書ヲ主管廳長官ヘ送付スヘシ

本廳外ニ在ル支部局ノ分任收支命令官ハ第七十一條ノ期日マテニ每月ノ歲出報告書ヲ主管廳長官ヘ送付スヘシ

第七十四條　前二條ニ據リ送付シタル歲出報告書ハ主管廳ノ收支命令官ヨリ其到達後三日以內ニ之ヲ大藏大臣ヘ送付スヘシ

第七十五條　現金ヲ出納スル所ノ出納主任官ハ現金ノ受拂ヲ大藏省主計局長ヘ報告スヘシ

第七十六條　前條ノ報告期節ヲ定ムル左ノ如シ

一　在外各廳ノ收入及經費機密費及現金仕拂所ナキ地方各廳ノ經費ノ報告ハ每月分ヲ翌月十日マテニ發送ス

一　陸軍ノ行軍費ノ報告ハ行軍終ル後十五日以內ニ發送ス

一　海軍ノ航海費燈臺巡回船ノ航海費ノ報告ハ航海終ル後十五日以內ニ發送ス

第七十七條　各廳ノ收支命令官ハ會計年度內ニ於テ歲入ノ徵收若クハ歲出ノ仕拂ヲ完了セサルモノアルトキハ其報告書ヲ製シ年度後十五日以內ニ之ヲ大藏大臣ヘ送付スヘシ但所在地ノ隔離スル郡區役所若クハ支部局ニ係ルモノハ年度後一箇月內ニ取纏メ之ヲ送付スヘシ

第七十八條　各廳ノ收支命令官ハ會計ノ整理期限（翌年度八月內ニ於）

テ歳出ノ支出ヲ完了セサルモノアルトキハ其報告書ヲ製シ翌年度十月三十一日マテニ之ヲ大藏大臣ヘ送付スヘシ

第七十九條　各廳ノ收支命令官ハ翌年度十一月三十日マテニ歳入ノ徵收ヲ完了セサルモノアルトキハ其報告書ヲ製シ十二月三十一日マテニ之ヲ大藏大臣ヘ送付スヘシ

第八十條　會計主務官ハ會計ノ整理期限マテニ概算支出ノ精算未濟ノモノアルトキハ其報告書ヲ製シ翌年度九月三十日マテニ之ヲ大藏省及會計檢查院ヘ送付スヘシ

第八十一條　郡區役所又ハ支部局ノ所在地遠隔ニシテ第六十七條第七十條及第七十九條但書ノ報告期節ニ其報告ヲ取纏メ難キ場合ニ於テハ其旨ヲ大藏大臣ニ開申シ追表ヲ製シテ別ニ之ヲ報告スヘシ

第六章　雜則

第八十二條　此規則ニ揭クル仕譯書請求書月額豫算表計算書報告書徵稅令書納額告知書仕拂切符等ノ樣式ハ大藏大臣之ヲ定ム

第八十三條　此規則ニ關スル事務取扱ノ手續ハ大藏大臣之ヲ定ム

第八十四條　現行法規中此規則ニ牴觸スル條項ハ廢止ス

○第六節　歳入取扱順序　明治十九年三月十八日大藏省第四號令

閣令第三號歳入歳出出納規則第八十三條ニ據リ歳入取扱順序別冊ノ通之ヲ定ム

歳入取扱順序（別冊）

第一章　主管廳及支部局

第一條　北海道廳長官府知事縣令ハ每年達セラレタル豫算額ニ據リ前々年度以前三ケ年間該當月ニ收入シタル平均額ト其豫算額トヲ標準トシ一週年度中ニ係ル內國稅ノ月額豫算表ヲ第十七號甲書式ニ據リ調製シ

第二條　北海道廳長官府知事縣令ハ規則第十九條ニヨリ之ヲ大藏省ヘ送付ス

郡區長ヘ下スコハ租稅ノ種類ニ依リ其廳ノ便宜ニ從ヒ或ハ豫算ニ基キ豫メ之ヲ發シ或ハ隨時ニ之ヲ發ス

第三條　北海道廳長官府知事縣令ハ郡區長ヨリ規則第六十六條ノ報告ヲ得タルトキハ之ヲ取纏メ第十八號書式ニ據リ徵稅額表ヲ製シ規則第六十七條ニヨリ之ヲ大藏省ヘ送付スヘシ

第四條　北海道廳長官府知事縣令ハ郡區長ヨリ順序第四十八條ノ徵收濟報告書ヲ得タルトキハ每月分ヲ取纏メ第二十號甲書式ノ歲入報告書ヲ製シ規則第七十條ニヨリ大藏省ヘ送付ス

第五條　北海道廳長官府知事縣令ハ郡區長ヨリ順序第五十條ノ既納歲入下戻ヲ請求スルトキハ第六號書式ニヨリ計算書ヲ製シテ規則第三十三條ニヨリ其下戻ヲ大藏省ニ請求ス

第六條　北海道廳長官府知事縣令ハ大藏省ヨリ既納金拂戻證ノ交付ヲ受クルトキハ之ヲ郡區長ニ交付シ其旨ヲ大藏省ヘ報告ス

第七條　北海道廳長官府知事縣令ハ會計年度內ニ於テ內國稅ノ徵收ヲ完了セサルモノアルトキハ第二十三號甲書式ニヨリ會計年度內徵收未濟報告書ヲ製シ規則第七十七條ニヨリ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第八條　北海道廳長官府知事縣令ハ翌年度十一月三十日迄ニ內國稅ノ徵收ヲ完了セサルモノアルトキハ第二十三號甲書式ニ據リ出納閉鎖前不納報告書ヲ製シ規則第七十九條ニヨリ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第九條　規則第八十一條ニヨリ成規ノ期限後ニ製スル所ノ報告書ハ各第十八號書式第二十號甲書式第二十三號甲書式ニ準ス

第二部　歲入（稅關ノ諸收入ヲ除ク）

第十條　主管廳ノ收支命令官ハ每年達セラレタル豫算額ニ基キ第十七號乙書式ニヨリ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第十一條　收支命令官ハ規則第二十二條ニ據リ各所管內ノ歲入月額豫算表ヲ調製シ規則第六十五條ニヨリ之ヲ大藏省ヘ送付ス

會計主務官又ハ分任收支命令官ハ規則第二十二條ニ據リ其代理官ニ命令ヲ下スニハ歲入ノ性質ニ依リ其廳ノ便宜ニ從ヒ或ハ豫算ニ基キ豫メ之ヲ發シ或ハ隨時ニ之ヲ發シテ其徵收ヲ取扱ハシム

第十二條　會計主務官又ハ其代理官ニ於テ規則第二十二條第二十五條ニ據リ納額告知書ヲ發スルトキハ總テ納額台帳ニヨリ第四號書式ノ納額告知書ニ納人ノ姓名、金員、納期、告知書番號、所屬年度、科目、所屬曆年「納期ノ數回アルモノハ其納期共」納付先ヲ記載シ又其告知書ニ接續シタル上納書ノ正副共右同一ノ記入ヲナシ納額告知書ニハ發付ノ年月日及發付者ノ官姓名ヲ記シ之ニ官印ヲ捺シ第四號書式ニ印ノ處ヘ台帳ト割印シテ之ヲ納人ヘ交付ス

第十三條　規則第二十六條第二十八條ニ據リ納人ヨリ現金ヲ納付セシムルトキハ納額告知書ニ接續シタル上納書正副共ニ年月日ヲ

記入シ記名捺印シ「見認印又ハ花押等ニテモ差支ナシ」納額告知書ト共ニ之ヲ現金ニ添テ金庫ヘ持參ヒシム

第十四條　規則第十六條但書及第十七條ニ據リ現金ヲ各廳ヘ收入スルトキハ其取扱主任官ハ規則第二十七條ニヨリ第五號書式ノ納付書ヲ添ヘ現金ヲ金庫ヘ納付ス

第十五條　納人數多アリテ其組合代理ヲ撰ミ之ニ委託シテ納金ヲナサシムルモノアルトキハ代理納人ニ對シテ納額ヲ集計シタル納額告知書ヲ發ス

第十六條　納人ノ隔地ニ散在スルガ爲メ他廳「主管廳ヲ異ニスル官衙」ニ徵收ヲ委託スル場合ニ於テハ收支命令官ヨリ受託廳ノ支收命令官ニ徵收額調書ヲ送リテ其徵收ヲ託ス

第十七條　前條ノ委託ヲ受ケタル收支命令官ハ分任收支命令官ノ地位ニアルト均シク徵收ヲ取扱フモノナレドモ處務ノ便宜上必要トスレハ更ニ部下ノ官吏ニ收支ノ命令ヲ分任ス

第十八條　納人ノ隔地ニ散在スルガ爲メ部下ノ廳ヲシテ徵收ヲ監督セシムル場合ニ於テハ收支命令官ハ會計主務官ヲシテ順序第十二條ニヨリ調製シタル納額告知書ヲ其廳ヘ送付セシメ其廳ニ於テ各納人ヘ配付セシム

第十九條　前條ニ據リ主管廳ヨリ納額告知書ノ配付ヲ命セラレタル部下ノ廳ハ主管廳ノ定メタル帳簿式ニ據リ徵收監査簿ヲ備ヘ置キ之ニ登記シ其納額告知書ノ裏面ニ配付ノ年月日ヲ記入シ廳印ヲ捺シ上納正副書用紙ノ裏面ニハ廳印ノミヲ捺シ之ヲ納人ヘ交付ス

第二十條　納人告知書ノ配付ヲ命セラレタル廳ニ於テハ金庫ヨリ順序第八十三條ニ據リ送付シタル上納副書ヲ受クルトキハ之ヲ徵收監査簿ニ照合シ納濟ノ記入ヲナス

第二十一條　納額告知書ヲ配付シタル廳ハ金庫ヨリ送付シタル上納副書ヲ取纏メ主管廳ノ定メタル期節ニ之ヲ主管廳ヘ送付ス

第二十二條　會計主務官又ハ其代理官ハ金庫ヨリ順序第七十四條ニ據リ上納副書ヲ送付セラレ又ハ上納副書ヲ取纏メタル廳ヨリ前條ニ據リ上納副書ヲ送付セラレタルトキハ之ヲ納額台帳ニ照合シ該台帳ニ納濟ノ記入ヲナス

第二十三條　會計主務官又ハ其代理官ハ毎月納濟ノ金額ヲ取調ベ歲入徵收濟調書ヲ製シ之ヲ收支命令官又ハ分任收支命令官ニ報告ス

第二十四條　收支命令官ハ前條ノ報告ニ據リ第二十號乙書式ノ歲入

報告書ヲ製シテ規則第七十條ニ據リ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第二十五條　分任收支命令官ハ順序第二十三條ノ報告ニ據リ第二十號乙書式ニ準シ歲入報告書ヲ製シテ之ヲ主管廳ヘ送付ス

第二十六條　主管廳ノ收支命令官ハ前條ノ報告書ヲ受クルトキハ查閱ノ後之ニ記名捺印シテ大藏省ヘ送付ス

第二十七條　收支命令官ハ既納ノ歲入下戻ヲ要スルトキハ第六號書式ニ準シ計算書ヲ製シテ規則第三十三條ニ據リ其下戻ヲ大藏省ニ請求ス

第二十八條　分任收支命令官ハ既納ノ歲入下戻ヲ要スルトキハ事由ヲ具シテ主管廳ノ收支命令官ニ開申ス

第二十九條　收支命令官ハ大藏省ヨリ既納金拂戻證ノ交付ヲ受タルトキハ會計主務官又ハ其代理官ヲシテ之ヲ受取人ニ交付セシメ其旨ヲ大藏省ニ報告ス

第三十條　會計主務官又ハ其代理官ハ金庫ヨリ上納副書若クハ領收ヲ證シタル納付書ヲ受タルトキ年度又ハ科目ノ後記ヲ發見スルトキハ收支命令官又ハ分任收支命令官ニ具申シ其命令ニヨリ即時金庫ニ照會シテ之ガ訂正ヲ請求ス

第三十一條　在外各廳ニ於テ現金ヲ出納スル所ノ出納主任官ハ歲入歲出ノ現金ヲ合セテ取扱タルトキハ第二十二號甲書式ニ據リ歲入ノミ取扱タルトキハ第二十二號乙書式ニ據リ規則第七十五條第七十六條ニ據リ報告書ヲ製シテ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第三十二條　前條ノ出納主任官ハ其收入シタル現金ヲ監守シ大藏省ノ指揮ニ從テ之ヲ處分ス

第三十三條　收支命令官ハ會計年度內ニ於テ歲入ノ徵收ヲ完了セサルモノアルトキハ第二十三號乙書式ニ據リ會計年度內徵收未濟報告書ヲ製シ規則第七十七條ニ據リ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第三十四條　收支命令官ハ翌年度十一月三十日マテニ歲入ノ徵收ヲ完了セサルモノアルトキハ第二十三號乙書式ニ據リ出納閉鎖前不納報告書ヲ製シ規則第七十九條ニヨリ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第三十五條　規則第八十一條ニ據リ成規ノ期限後ニ製スル所ノ報告書ハ各第二十號乙書式第二十三號乙書式ニ準ス

第二章　郡區役所

第三十六條　郡區長ハ規則第十九條第二十三條ニ據リ戶長若クハ各納稅者ニ對シテ徵稅令書ヲ發スルトキハ總テ徵稅台帳ニ據リ徵稅

令書ニ納入「納税者若シクハ戸長」ノ姓名、金員「納期、令書番號、所屬年度、科目、所屬暦年、納期ノ數回アルモノハ其納期共」納付先、其令書ニ接續スル上納書ノ正副共同一ノ記入ヲナシ（金員ヲ除キ）徴税令書ニハ發付ノ年月日及發付者ノ官姓名ヲ記シ之ニ官印ヲ捺シ第一號書式イ印ノ如ク台帳ト割印シテ之ヲ納入ヘ交付セス

第三十七條　前條中各納税者ニ對シテ發スル徴税令書ハ第二號書式ニ據リ戸長ニ對シテ發スル徴税令書ハ第一號書式ニ據ル

第三十八條　各納税者ニ對シテ發スル徴税令書ハ郡區役所ノ便宜ニ依リ戸長ニ交付シテ之ヲ配付セシメ又ハ直ニ之ヲ各納税者ニ交付ス

第三十九條　戸長ニ徴税令書ヲ交付シテ配付セシムル場合ニ於テハ戸長ヲシテ税金ヲ取纏メ之ヲ金庫ニ納付セシメ又ハ各納税者ヲシテ直ニ税金ヲ金庫ニ納付セシムルハ徴税上便宜ニ依リ郡區役所ニ於テ之ヲ命令ス

第四十條　規則第二十六條第二十八條ニ據リ納入ヲシテ現金ヲ納付セシムルニハ徴税令書ニ接續シタル上納書正副共ニ年月日ヲ記入之ヲ現金ニ添ヘ金庫ヘ持參セシム

第四十一條　郡區長ハ徴税令書ヲ發シタルトキハ規則第六十六條ニ據リ其報告書ヲ製シテ北海道廳長官府知事縣令ノ定メタル期節ニ之ヲ主管廳ヘ送付ス

第四十二條　公賣處分ヲ以テ徴收シタル税金ヲ規則第十六條但書ニ據リ郡區役所ニ收納シタルトキハ別ニ其領收證書ヲ製シ處分濟徴收ノ達書ト共ニ之ヲ納税者ニ交付ス但戸長ニ對シテ徴税令書ヲ發シタルモノニ係ルトキハ本文ノ領收證書及ヒ達書ヲ戸長ニ交付シテ之ヲ納税者ニ傳ヘシム

第四十三條　規則第十七條ニヨリ税金ヲ郡區役所ニ納付セシメタルトキハ郡區役所ハ徴税令書ニ領收ノ年月日ヲ記入シ役所印ヲ捺シ其傍ニ取扱主任者ノ印ヲ捺シ上納書ト接續ノ處ヘ割印ノ後之ヲ切斷シ該令書ハ之ヲ納入ヘ還付ス

第四十四條　戸長ニ對シテ徴税令書ヲ發シ税金ヲ郡區役所ニ徴收スル場合ニ於テ税金ノ内納不納等ノトキ戸長ニ對スル處務ノ順序ハ

總テ金庫ノ取扱ニ準ス

第四十五條　規則第十六條但書及第十七條ニ據リ稅金ヲ郡區役所ニ收入スルトキハ郡區長ハ稅金取扱主任官ヲシテ規則第二十七條ニ據リ第五號書式ノ納付書ヲ添ヘ現金ヲ金庫ヘ納付セシム

第四十六條　郡區長ハ金庫ヨリ順序第七十四條ニ據リ上納副書ヲ送付セラレタルトキハ之ヲ徵稅台帳ニ照合シ該台帳ニ納濟ノ記入ヲナス

第四十七條　郡區役所ニ於テ稅金ヲ徵收スル場合ニ於テハ現金ヲ收納シタル際即時ニ徵稅台帳ニ領收濟ノ記入ヲナス

第四十八條　郡區長ハ每月徵收濟ノ金額ヲ一ケ月每ニ取調徵收濟報告書ヲ製シ北海道廳長官府知事縣令ノ定メタル期節ニ之ヲ主管廳ヘ送付ス

第四十九條　郡區長ハ徵稅台帳及金庫ヨリ送付シタル不納報告ニ據リ會計年度內徵收未濟報告書幷ニ出納閉鎖前不納報告書ヲ製シ北海道廳長官府知事縣令ノ定メタル期節ニ之ヲ主管廳ヘ送付ス

第五十條　郡區長ハ既納ノ稅金下戻ヲ要スルトキハ之レガ計算書ヲ製シテ其下戻ヲ北海道廳長官府知事縣令ニ請求ス

第五十一條　郡區長ハ主管廳ヨリ既納金拂戻證ヲ交付セラレタルトキハ其領收證ヲ主管廳ヘ發送シ其拂戻證ハ受取人ニ交付シ其領收證ヲ徵稅台帳ニ照合シ該台帳ニ納濟ノ記入ヲナス

第五十二條　郡區長ハ稅金徵收濟ノ後徵收不足ヲ發見スルトキハ更ニ徵稅令書ヲ發シ其理由ヲ裏面ニ記載シテ之ヲ納人ニ交付ス

第五十三條　郡區長ハ金庫ヨリ上納副書分納副書若クハ領收ヲ證シタル納付書ヲ受ケタルトキ年度又ハ科目ノ誤記ヲ發見スルトキハ即時金庫ニ照會シテ之ガ訂正ヲ請求ス

第五十四條　郡區長ハ順序第十八條ニ據リ主管廳ヨリ納額告知書ノ配付ヲ命セラレタルトキハ北海道廳長官府知事縣令ノ定メタル帳簿式ニ據リ徵收監查簿ヲ備置キ之ニ登記シ其納額告知書ノ裏面ニ配付ノ年月日ヲ記入シ郡區役所ノ印ヲ捺シ上納正副書用紙ノ裏面ニハ郡區役所ノ印ノミヲ捺シテ之ヲ納人ヘ交付ス

第五十五條　郡區長ハ前條ノ場合ニ於テ金庫ヨリ順序第八十三條ニ據リ送付シタル上納副書ヲ受ケタルトキハ之ヲ徵收監查簿ニ照合シ納濟ノ記入ヲナス

第五十六條　郡區長ハ順序第五十四條ノ場合ニ於テ納金ヲ領收シタ

ル金庫ヨリ送付シタル上納副書ヲ取纏メ主管廳ノ定メタル期節ニ之ヲ主管廳ヘ送付ス

第三章　戸長役場

第五十七條　戸長ハ郡區長ヨリ徴税令書ヲ以テ町村ノ税金取纏メヲ命ゼラレタルトキハ規則第二十條ニ據リ概子附記ノ雛形ニ準シ徴税傳令書ヲ製シ納税者ニ配付シ納税者ヲシテ現金ニ徴税傳令書ヲ添ヘ戸長役場ニ納付セシム

第五十八條　戸長ハ各納税者ヨリ税金ヲ領收スルトキハ徴税傳令書ニ接續シタル税金領收證用紙ニ金員及領收ノ年月日ヲ記入シ姓名ノ下ニ捺印シ傳令書ト領收書ト接續ノ處ヘ割印シテ之ヲ切斷シ傳令書ヲ役所ニ留メ領收書ヲ納税者ニ交付ス

第五十九條　納期末日前ニ於テ税金ノ内納ヲナサンコトヲ請フモノアルトキハ徴税傳令書ニ内納ノ金額幷ニ其領收年月日ヲ記入シ捺印シテ納税者ニ交付シ完納ニ至リ前條ノ手續ヲナズ但戸長ニ於テ内納金ヲ領收スル毎ニ別ニ領收證書ヲ發スルヲ便トスルトキハ別ニ假領收證ヲ交付シ完納ノ際前條ノ手續ヲナシテ假領收證ト交換ス

●山形縣伺

五月四日

歳入取扱ニ關スル徴税令書第二號書式（第何期分ト記載アリ）ニ依レハ一箇年前後ノ兩期ニ徴收スル營業税ノ如キハ都テ第一期第二期（新規ニ係ル分ハ其當期ヲ掲ク）分ト記載スル儀ナルヤ果シテ然ラハ歳入報告表ノ如キモ同様（新規ト繰繼キ區分ヲ要セス）記載スヘキヤ又徴税令書（所屬暦年第何期分ト記載ノ欄）ヘ何月何日限ノ分ト納期ヲ記載

第六十條　戸長ハ規則第廿四條ニ據リ取纏メタル税金ヲ納付スルトキハ郡區長ヨリ受タル徴税令書ニ接續シタル上納書用紙ニ第一號書式第一例ノ如ク金員年月日ヲ記入シ記名捺印シテ徴税令書ト共ニ之ヲ現金ニ添ヘ金庫ヘ納付ス

第六十一條　戸長ハ其取纏メタル税金未タ徴税令書ノ金額ニ滿ザルガ爲メ内納ヲナサントスルトキハ第三號書式ノ分納書ニ式ノ如ク所屬年度科目所屬暦年「納期ノ數回ナルトキハ其納期トモ」ヲ其受ケタル徴税令書ニ記載シタル如ク記入シ之ニ内納ノ金額及納付年月日ヲ記入シ記名捺印シテ現金幷ニ徴税令書「此時徴税令書ニ接續シタル上納書用紙ハ白文ノ儘」ト共ニ之ヲ金庫ヘ納付ス

第六十二條　前條分納ノ場合ニハ徴税令書ニ記載シタル納金ノ全額ニ滿ルマデハ前條ノ手續ニヨリ最後完納ノ時ニ至レハ分納書ヲ用ヒス第一號書式第二例ノ如ク徴税令書ニ接續シタル上納書ニ其納金額年月日等ヲ記入シ記名捺印シテ徴税令書ト共ニ之ヲ現金ニ添ヘ金庫ヘ納付ス

第六十三條　戸長ニ於テ税金ヲ分納シタル後納期末日ニ至リ徴税令書ノ金額ヲ完納スル能ハザルトキハ徴税令書ニ接續シタル上納書

スル儀ナラハ歳入報告表モ同様記載スヘキヤ

○大藏省（指令）五月二十一日

徴税令書ニ關スル件ハ一期、二期、隨時收入ノ二箇ニ區別スヘシ

用紙ノ上納文ヲ朱書ヲ以テ第一號書式第三例ノ如ク改記シ不納報告書トナシ不納金額及年月日ヲ記入シ記名捺印シテ之ヲ「徴税令書ニ接續ノ儘」金庫ニ送付ス

第六十四條　前條ノ不納報告ヲナシタル後不納處分中戸長ニ於テ税金ノ上納ヲ取扱フコトアルトキハ順序第六十一條ノ如ク第三號書式ノ分納書ヲ以テ曩ニ金庫ヨリ返付セラレタル徴税令書ト共ニ現金ヲ金庫ニ納付ス

第六十五條　戸長ハ郡區長ヨリ各納税者ニ對シテ發シタル徴税令書ヲ交付セラレタルトキハ直ニ之ヲ各納税者ニ配付ス

第六十六條　戸長ハ前條ノ場合ニ於テ順序第三十九條ニ據リ郡區長之ニ對シテ税金ノ取纏メヲ命セラレタルトキハ納税者ヨリ税金ヲ領收シ續シタル上納書ヲ預リ假領收證書ヲ發付シ其持參シタル徴税令書幷ニ之ニ接シテ假領收證書ヲ預ル

第六十七條　戸長ハ前條領收シタル税金ヲ其預リタル徴税令書上納書ト共ニ金庫ニ納付ス

第六十八條　戸長ハ金庫ヨリ領收ヲ證シタル徴税令書ノ還付ヲ受ルトキハ之ヲ各記名ノ納税者ニ交付シ曩キニ發付シタル假領收證ト交換ス

第六十九條　成規又ハ納税者ノ望ニ據リ徴税令書發付ニ先タチ税金ヲ納ムル場合ニ於テハ戸長ハ其預リ證書ヲ納税者ニ交付シ郡區長ニ報告シテ徴税令書ノ發付ヲ請求ス

第七十條　前條ノ場合ニ於テハ戸長ハ徴税令書ヲ受ケタルトキ納税者ヲシテ上納書用紙ニ年月日ヲ記入シ記名捺印セシメ曩ニ預リタル現金ト共ニ金庫ニ納付シ徴税令書ニ領收ノ證ヲ受ケ之ヲ納税者ニ交付シテ預リ證書ト交換ス但戸長ニ對シテ發シタル徴税令書ヲ受ルトキハ其傳令書ヲ發セス戸長ヨリ領收證書ヲ發シテ預リ證書ト交換ス

第七十一條　戸長ニ於テ既納ノ税金下戻ヲ要スルト見認ルトキハ事由ヲ具シテ之ヲ郡區長ニ請求ス

第七十二條　戸長ハ郡區長ヨリ税金ノ拂戻證ヲ交付セラレタルトキハ其領收證ヲ郡區役所ヘ發送シ金庫ニ於テ現金ヲ受取リ之ヲ配付ス

第四章　金庫

第七十三條　納入ヨリ現金ヲ上納書ニ添ヘ徴税令書若シハ納額告知

書ト共ニ納付スルトキハ金庫ハ其令書若クハ告知書ニ規則第二十九條ニ據リ書式ノ如ク領收ノ年月日ヲ記入シ金庫ノ印ヲ捺シ上納書ト接續ノ處ヘ割印ノ後之ヲ切斷シ其令書若クハ告知書ハ之ヲ納八ヘ還付ス

第七十四條　金庫ハ前條ノ手續ヲナシタル後正副上納書ニ書式ノ如ク納濟ノ年月日ヲ記入シ金庫ノ印ヲ捺シ正書ニハ納濟月日ノ傍ニ取扱主任者ノ印ヲ捺シ正副書接續ノ處ヘ割印シテ之ヲ切斷シ正書ニ據リテ帳簿ニ記入シ副書ハ規則第六十八條ニ據リ即日前條ノ令書若クハ告知書ヲ發シタル廳ヘ送付ス

第七十五條　戶長ヨリ稅金ノ內納ヲナス爲メニ分納書ヲ添テ現金ヲ納付スルトキハ金庫ハ徵稅令書ノ裏面ニ第一號書式第二例ノ如ク內納ノ金額年月日ヲ記入シ捺印シタル上之ヲ戶長ニ還付ス

第七十六條　金庫ハ前條ノ手續ヲナシタル後ハ分納書ニ書式ノ如ク納濟ノ年月日ヲ記入シ金庫ノ印ヲ捺シ正副接續ノ處ニ割印シテ之ヲ切斷シ副書ハ即日其徵稅令書ヲ發シタル郡區役所ヘ送付シ正書ニヨリテ帳簿ニ記入ス

第七十七條　戶長ヨリ稅金ノ分納ヲナシタル末完納ニ至ルトキハ金庫ハ第一號書式第二例ノ如ク徵稅令書裏面ニ記載シタル領收濟ノ金額ヲ合計シテ之ヲ表面ニ移記シ其次行ニ最後領收ノ金額年月日ヲ記入シ金庫ノ印ヲ捺シ上納書ト接續ノ處ヘ割印シテ之ヲ切斷シ該徵稅令書ハ之ヲ戶長ニ還付ス

第七十八條　戶長ヨリ稅金ノ分納ヲナシタル末徵稅令書ノ金額ヲ完納シ難キトキ其旨ヲ報告シ來ルトキハ金庫ハ第一號書式第三例ノ如ク徵稅令書裏面ニ記シタル領收濟ノ金額ヲ合計シテ之ヲ表面ニ移記シ其次行ニ朱書ヲ以テ不納金額ヲ記載シ金庫ノ印ヲ捺シ不納報告書ト接續ノ處ヘ割印シテ之ヲ切斷シ該徵稅令書ハ之ヲ戶長ニ還付ス

第七十九條　金庫ハ前條ノ手續ヲナシタル後不納報告書正副書接續ノ處ヘ割印シテ之ヲ切斷シ副書ハ即日其徵稅令書ヲ發シタル郡區役所ヘ送付ス

第八十條　不納處分中上納ノ稅金ヲ戶長ヨリ納付シ來ルトキハ金庫ハ第一號書式第三例ノ末ニアル雛形ニ據リ領收證簽ヲ製シ領收ノ金額年月日ヲ記入シ金庫ノ印ヲ捺シ徵稅令書ノ下端ニ書式ノ如ク貼付シ契印ヲ捺シテ之ヲ戶長ニ還付ス幾回ニモ右ノ如キ收納アル

トキハ總テ領收證ヲ徵稅令書ノ下端ニ幷貼シ餘地ナキニ至レハ徵稅令書裏面ノ餘白ニ貼付ス

第八十一條　前條ノ手續ヲ終ル後分納書取扱ノ手續キハ第七十六條ニ同シ

第八十二條　金庫ハ現金取扱ノ主任官ヨリ現金ノ納付ヲ受ルトキ規則第二十九條但書ニ據リ第五號書式ノ如ク納付書ニ領收ノ年月日ヲ記入シ副書ニハ納濟ノ年月日ヲ記入シ共ニ金庫ノ印ヲ捺シ正副書接續ノ處ヘ割印シテ之ヲ切斷シテ正書ハ之ヲ納付人ヘ還付シ副書ニハ金庫印ノ傍ニ取扱主任者ノ印ヲ捺シ之ニ據リテ帳簿ニ記入ス

第八十三條　順序第十九條若クハ第五十四條ノ納額告知書ト共ニ現金ヲ領收シタル場合ニ於テハ金庫ハ順序第七十三條第七十四條ノ手續キニ據リテ之ヲ取扱ヒ其上納副書ハ該告知書ヲ配付シタル廳ヘ送付ス

徵稅傳令書雛形

第　何　號

何ノ誰納

（寸法洋紙適宜）

一金　何圓何錢

右明治何年第何期分地租

年　月　日限リ上納

戶長何ノ誰印

第　何　號

一金　何圓何錢

右正ニ領收候也

年　月　日　戶長何ノ誰印

○第七節　歲入取扱順序第六十一條ニ據リ戶長ニ於テ稅金ヲ分納スルトキ徵稅令書ヲ亡失シタル場合ニ於テハ左ノ通取扱フヘシ　（明治十九年八月大藏省訓令第三十七號）

アリテ徵稅令書ヲ亡失ノ場合

戶長ニ於テ稅金ヲ分納スルトキ徵稅令書ヲ亡失シタル場合ニ於テハ左ノ通取扱フヘシ

一氷火災盜難等ニ罹リ徵稅令書ヲ亡失シタルトキハ戶長ハ其事由ヲ具シテ郡區長ニ開申スヘシ

一郡區長ハ前項ノ開申ヲ得ルトキハ未納殘額ヲ取調ヘ其殘額ノ徵稅令書ヲ發スヘシ

一前項未納殘額ノ徵稅令書ハ金額ノ右側ニ左ノ如ク記載スヘシ

金何圓何錢ノ內未納殘

○第八節　歲出取扱順序　明治十九年三月十八日大藏省第五號令

閣令第三號歲入歲出出納規則第八十三條ニ據リ歲出取扱順序別冊ノ通之ヲ定ム

歲出取扱順序（別冊）

第一章　各廳普通經費

第一條　主管廳ノ收支命令官ハ規則第三十七條ニ據リ每年達セラレタル豫算額ニ基キ經費ノ支出月額ヲ定メ仕拂場所ヲ區別シ第八號書式ニ據リ仕譯書ヲ製シテ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第二條　大藏大臣ノ承認ヲ得タル支出仕譯書中ニ於テ規則第三十八條ニ據リ月額又ハ仕拂場所ヲ改訂セントスルトキハ第九號書式ニヨリ訂正仕譯書ヲ製シテ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第三條　支出期節ノ豫定シ難キモノニシテ其期節幷ニ仕拂場所ノ定マルトキハ第十號書式ニ據リ追仕譯書ヲ製シテ規則第三十九條ニヨリ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第四條　各廳ニ於テ經費ノ支出ヲ要スル每ニ會計主務官又ハ其代理官ハ支出スヘキ金額事由ヲ具シテ收支命令官又ハ分任收支命令官ノ裁可ヲ請フ

第五條　會計主務官又ハ其代理官ハ前條ノ裁可ヲ得タルトキハ第十一號書式ニヨリ仕拂切符元帳ニ金員事由ヲ記載シ仕拂切符ニ番號金員「要用ナレハ貨幣ノ種類共」仕拂場所受取人姓名切符發行ノ年月日等ヲ記入シ「要用ナレハ貨幣ノ種類共」受取人姓名切符發行ノ年月日ヲ記入シ記名捺印シ案內書ニハ番號所屬年度科目金員仕拂切符案內書ト接續ノ所ヘ割印シ之ヲ切斷シテ案內書ハ金庫ヘ送付シ仕拂切符ハ受取人ニ交付シテ其領收證ヲ徵スヘシ

第六條　會計主務官又ハ其代理官ノ在勤セサル地ノ金庫ニ宛テ仕拂切符ヲ發行セントスルトキハ仕譯書ヲ以テ承認ヲ得タル地方ナレ

ハ會計主務官又ハ其代理官ハ前條ノ手續ニヨリ其地ノ金庫ニ宛テ仕拂切符ヲ製シ同時ニ案内書ヲ該金庫ヘ送付シ仕拂切符ハ之ヲ受取人ヘ送付シテ其領收證ヲ徵ス

第七條　規則第五十八條ニ據リ會計主務官又ハ其代理官ノ在勤セサル地方ニ經費金ヲ送付セントスルトキハ仕譯書ヲ以テ豫メ承認ヲ得難キ場合ニ於テハ會計主務官又ハ其代理官ハ仕譯書ヲ以テ承認ヲ得タル地ノ金庫ニ宛テ仕拂切符ヲ發行シ切符ノ裏面ニ受取人ノ住所姓名幷ニ現金ノ遞送ヲ請求スル旨ヲ記載シテ該金庫ヘ送付ス

第八條　會計主務官又ハ其代理官ハ前條ノ請求ヲナシ金庫ヨリ送金ノ手形ヲ交付セラレタルトキハ之ヲ以テ受取人ヘ送付シ其領收證ヲ徵ス

第九條　會計主務官又ハ其代理官ハ順序第六條第七條第八條ノ手續ニヨリ仕拂切符ノ書式等成規ノ如クナラサルカ又ハ案内書ニ據リ仕拂切符ヲ發行スルトキハ仕拂切符元帳ニヨリ帳簿ニ登記ス

第十條　金庫ヨリ仕拂切符ノ書式ニ關シ成規ノ如クナラサルカ又ハ案内書ト符合セサルコトアルカヲ通知スルトキハ該切符ヲ發シタル會計主務官又ハ其代理官ハ其理由ヲ審査シ該切符若シ證書ノ効力ヲ失ナフニ至ラサル場合ナルカ又ハ案内書ノ誤謬ナレハ其切符ノ正當ナル保證書ヲ金庫ヘ送付シテ仕拂ヲ請求シ該切符若シ證書ノ効力ヲ有シ難キ場合ニ於テハ其旨ヲ金庫ニ報シテ仕拂切符ヲ持參人ヘ返付セシコトヲ請求シ其僞造變造等ニ係ルトキハ法ニ據リテ取扱ハシム

第十一條　前條金庫ヨリ受取人ニ仕拂切符ヲ返付シタル場合ニ於テ其所有者ヨリ該仕拂切符ノ書換ヲ請求スルトキハ會計主務官又ハ其代理官ハ書換ヲナスベキ正當ノ理由アリト見認ルトキハ收支命令官又ハ分任收支命令官ノ裁可ヲ請ヒ更ニ仕拂切符ヲ製シテ舊仕拂切符ト交換ス

第十二條　仕拂期限ヲ經過シタル仕拂切符ノ書換ヲ請求セラルヽトキハ會計主務官又ハ其代理官ハ收支命令官又ハ分任收支命令官ノ裁可ヲ請ヒ更ニ仕拂切符ヲ製シテ舊仕拂切符ト交換ス

第十三條　會計ノ整理期限内ニ於テ仕拂切符ノ書換ヲナストキハ仕拂切符簿（大藏省ヨリ交付シタル仕拂切符元帳仕拂切符及案内書ノ用紙）ニ於テ通常仕拂切符發行ノ手續キニヨリ仕拂切符幷ニ案内書ヲ製シ元帳ニハ朱書ヲ以テ金額事由等ヲ記入シ割印シテ之ヲ

切斷ス但金額ノ更正ヲ要スル場合ニ於テハ本文ノ手續ニ據ラス

第十四條　會計ノ整理期限ヲ經過シテ仕拂切符ノ書換ヲナストキハ過年度支出トシテ更ニ通常ノ手續ニヨリ仕拂切符ヲ發行ス

第十五條　會計主務官又ハ其代理官ハ順序第十二條第十三條ニヨリ仕拂切符ヲ再發シテ交換シタルトキハ舊仕拂切符ニ消印ヲナシ收支命令官又ハ分任收支命令官ニ之ヲ證明ス

第十六條　會計主務官又ハ其代理官ハ會計ノ整理期限前ニ於テ過渡金ノ追徵ヲナストキハ第十六號書式ニヨリ返納告知書ニ番號金員事由納期日返納場所返納人ノ姓名年月日ヲ記入シ記名捺印シ返納元帳ニハ番號金員事由納期日返納人ノ姓名告知書發付ノ月日ヲ記入シ元帳ト告知書ト接續ノ處ヘ割印ヲナシ切斷シテ之ヲ返納人ヘ交付シ返納ヲナシテ返納告知書ニ現金ヲ添テ金庫ヘ納付セシム

第十七條　會計主務官又ハ其代理官ハ會計ノ整理期限後ニ於テ過渡金ノ追徵ヲナストキハ歲入ヲ徵收スルト同一ノ手續ニヨリ納額告知書ヲ發シテ之レヲ返納人ヘ交付シ返納人ヨリ現金ヲ金庫ヘ納付セシム

第十八條　會計主務官又ハ其代理官ハ金庫ヨリ返付ノ通知ヲ得タルトキハ返納元帳ニ返納濟ノ記入ヲナス

第十九條　主管廳ノ收支命令官ハ規則第五十一條ニヨリ送金ヲ請求センストスルトキハ第十二號書式ニ據リ送金請求書ヲ製シテ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第二十條　前條ノ請求ニヨリ經費金ノ送付ヲ請タル出納主任官ハ即時第十三號書式ニヨリ其領收證書ヲ製シテ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第二十一條　前條ノ出納主任官ハ該經費金ノ支出ヲ要スルトキハ收支命令官ノ裁可ヲ請フテ之ヲ支出ス

第二十二條　主管廳ノ收支命令官ハ規則第五十五條ニヨリ經費金ヲ受取ントスルトキハ第十四號書式ニヨリ請求書ヲ製シテ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第二十三條　前條ノ請求ニ因リ經費金ノ交付ヲ受ケタル出納主任官ハ即時第十三號書式ニヨリ其領收證書ヲ製シテ之ヲ金庫ヘ送付ス

第二十四條　前條ノ出納主任官ハ其交付セラレタル現金ノ支出ヲ要スルトキハ該經費金ノ收支命令官又ハ分任收支命令官ノ裁可ヲ請テ之ヲ支出ス

第二十五條　規則第三十六條ニ據リ現金ヲ受取シトスルトキハ主管
廳ノ收支命令官ハ第十四號書式ニ準シ請求書ヲ製シ事由ヲ具シテ
之ヲ大藏省ヘ送付ス

第二十六條　前條ニ因リ現金ノ交付ヲ受ルトキハ出納主任官取扱ノ
手續キハ總テ第二十三條第二十四條ニ準ス

第二十七條　規則第五十七條ニ據リ支拂ヲ請求セントスルトキハ主
管廳ノ收支命令官ハ第十五號書式ニ據リ請求書ヲ製シテ之ヲ大藏
省ヘ送付ス

第二十八條　前條請求ノ承認ヲ得タルトキハ收支命令官ハ通常支出
ノ手續キニ據リ會計主務官ヲシテ仕拂ヲ執行セシム

第二十九條　現金ヲ出納スル所ノ出納主任官ハ歲入歲出ノ現金ヲ合
セテ取扱ヒタルトキハ第二十二條甲書式ニ據リ歲出ノミ取扱タル
トキハ第二十二號丙書式ニ據リ報告書ヲ製シ規則第七十五條ニ據
リ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第三十條　規則第三十五條第一項第七項ニ屬スル經費金ヲ取扱ヒタ
ル出納主任官ハ每年度支出ノ後殘金アルトキハ之ヲ監守シ大藏省
ノ指揮ニ從テ之ヲ處分ス

第三十一條　收支命令官ハ每月支出ヲ裁可シタル調書ニ基キ規則第
七十一條ニ據リ第二十一號書式ノ歲出報告書ヲ製シテ之ヲ大藏省
ヘ送付ス

第三十二條　分任收支命令官ハ每月支出ヲ裁可シタル調書ニ基キ規
則第七十二條若クハ第七十三條ニ據リ第二十一號書式ノ歲出報告
書ヲ製シテ之ヲ主管廳ヘ送付ス

第三十三條　主管廳ノ收支命令官ハ前條ノ報告書ヲ受クルトキハ查
閱ノ後之レニ記名捺印シ規則第七十四條ニ據リ之ヲ大藏省ヘ送付
ス

第三十四條　收支命令官ハ會計年度內ニ於テ其仕拂フベキ歲出ノ支
出ヲ完了セサルモノアルトキハ規則第七十七條ニ據リ第二十四號
書式ノ會計年度內歲出未濟報告書ヲ製シ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第三十五條　收支命令官ハ會計ノ整理期限內ニ於テ其仕拂フベキ歲
出ノ支出ヲ完了セザルモノアルトキハ規則第七十八條ニ據リ第二
十四號書式ノ會計整理期限內歲出未濟報告書ヲ製シ之ヲ大藏省ヘ
送付ス

第三十六條　會計主務官ハ會計ノ整理期限マテニ概算ヲ以テ支出シ

タル經費ノ精算未濟ノモノアルトキハ規則第八十條ニ據リ第二十五號書式ノ精算未濟報告書ヲ製シテ之ヲ大藏省及會計檢査院ヘ送付ス

第三十七條　收支命令官ハ大藏省ヘ歳出ノ報告ヲ送付シタル後金額ヲ改メテ再度仕拂切符ヲ發行セシメタルトキ又ハ會計ノ整理期限ヲ過キ仕拂切符ヲ再發シ之ヲ交換セシメタルトキハ既ニ發送シタル歳出報告中其事項ノ取消書ヲ毎月ノ歳出報告書ト共ニ大藏省ヘ送付ス

第三十八條　收支命令官ハ出納閉鎖ノ期ヲ過キテ支拂切符ノ仕拂請求ナキ報告ヲ金庫ヨリ受ケタルトキハ十五日以内ニ前年度ノ歳出報告中其事項ノ取消書ヲ大藏省ヘ送付ス

第二章　各省所管ノ府縣費

第三十九條　府知事縣令ハ經費所管廳ノ長官ヨリ費額ノ令達ヲ受ケタルトキハ順序第一條ノ手續ニ據リ仕譯書ヲ製シテ之ヲ經費所管ノ廳ヘ送付ス

第四十條　規則第三十八條第三十九條ノ場合ニ於テハ順序第二條又ハ第三條ノ手續ニ據リ訂正仕譯書又ハ追仕譯書ヲ經費所管ノ廳ヘ送付ス

第四十一條　經費所管廳ノ長官ハ前二條ノ仕譯書ヲ受ケルトキハ査閲ノ後捺印シテ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第四十二條　府知事縣令ハ毎月支出ヲ裁可シタル調書ニ基キ規則第七十一條ニ據リ第二十一號書式ノ歳出報告書ヲ製シテ之ヲ經費所管ノ廳ヘ送付ス

第四十三條　府知事縣令ハ分任收支命令官ヨリ順序第三十二條ノ歳出報告ヲ受クルトキハ査閲ノ後之ニ記名捺印シテ經費所管ノ廳ヘ送付ス

第四十四條　經費所管廳ノ長官ハ前二條ノ報告書ヲ受クルトキハ査閲ノ後捺印シテ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第四十五條　順序第三十四條第三十五條ニ屬スル報告書及順序第三十七條第三十八條ノ取消書ハ府知事縣令ヨリ其經費所管廳ヘ送付ス

第四十六條　經費所管廳ノ長官ハ前條ノ報告書又ハ取消書ヲ受タルトキハ査閲ノ後捺印シテ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第四十七條　府縣ノ會計主務官ハ順序第三十六條ノ手續ニ據リ精

算未濟報告書ヲ大藏省及會計檢查院ヘ送付スルトキハ同時ニ副書
一通ヲ經費所管ノ廳ヘ送付ス

第四十八條　府知事縣令ハ規則第三十六條ニヨリ現金ヲ受取ラントスルトキハ第十四號書式ニ準ジ事由ヲ具シテ之ヲ經費所管ノ廳ニ請求ス

第四十九條　經費所管廳ノ長官ハ前條ノ請求ヲ受ルトキハ之ヲ查閱シ至當ノ請求ニシテ規則第三十六條ニ適合スルモノト見認ルトキハ請求書末ニ其旨ヲ副奏シテ大藏省ニ請求ス

第五十條　府知事縣令ハ神社常務ノ經費ノ豫算定額ヲ十二分シ每月順序第五條ノ手續ニヨリ會計主務官ヲシテ仕拂切符ヲ發シテ之ヲ受取ハヘ交付セシム

第五十一條　前條ニヨリ仕拂ヲ執行シ難キモノアルトキハ府知事縣令ハ事由ヲ具シ該經費所管ノ廳ニ特別ノ處分ヲ請求ス

第五十二條　神社費所管ノ廳ハ前條ノ請求ヲ受ルトキハ其當否ヲ審查シ請求ノ至當ナルモノハ更ニ之ヲ大藏省ニ請求ス

第五十三條　本章各條ニ歷擧シタル手續キノ外ハ總テ第四條ヨリ第二十一條マテ第二十六條ヨリ第三十條マテノ手續キニヨル

第三章　國債

第五十四條　國債元金償還ノ當籤ヲ大藏省ヨリ公布スルトキハ北海道廳長官府知事縣令ハ第八號書式ニ準シ其管內ニ於テ仕拂フベキ金額ヲ定メ仕拂場所ノ仕譯書ヲ製シテ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第五十五條　國債利子及賦金ノ定期仕拂ニ係ルモノハ規則第六十條ニ據リ其支出額ヲ豫定シテ大藏省ヨリ北海道廳長官府知事縣令ニ達ス

第五十六條　北海道廳長官府知事縣令ハ前條ノ令達ヲ受クルトキハ第八號書式ニ準シ仕拂場所ノ仕譯書ヲ製シテ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第五十七條　北海道廳長官府知事縣令ハ大藏省ヨリ順序第五十四條第五十六條ノ仕譯書ニ據リ仕拂ノ令達ヲ受クルトキハ其仕拂ヲ會計主務官ニ命ス但支廳ニ於テ支出ヲ要スルモノアルトキハ其支出ヲナスベキ旨ヲ支廳ノ分任收支命令官ニ達ス

第五十八條　支廳ノ分任收支命令官ハ北海道廳長官府知事縣令ヨリ前條ノ令達ヲ受ルトキハ其仕拂ヲ會計主務官又ハ其代理官ニ命ス

第五十九條　會計主務官又ハ其代理官ハ順序第五十七條若クハ第五十八條ノ命令ヲ受クルトキハ順序第五條ノ手續キニヨリ仕拂ヲ執

行ス

第六十條　仕譯書ニ據リ大藏省ノ令達ヲ得タルヲ以テ會計主務官又ハ其代理官ノ在勤セザル地方ノ金庫ニ宛テ前條ノ仕拂切符ヲ發スルトキハ該地方ノ郡區役所ニ仕拂切符ヲ送付シテ之ヲ受取人ニ交付セシメ同時ニ案內書ヲ該金庫ヘ送付ス

第六十一條　國債元金ヲ償還スルトキハ公債證書ニ對シテ仕拂切符ヲ交付シ利子ノ仕拂ヲナストキハ利札ニ對シテ仕拂切符ヲ交付シ賦金ノ支拂ヲナストキハ賦札ニ對シテ仕拂切符ヲ交付ス但記名公債證書及利札賦札ノ亡失等ニ罹リ定期ヲ過キテ元金利子若クハ賦金ヲ仕拂フトキハ其事由金額種類記號番號等ヲ詳記シタル領收證書ヲ徵シテ仕拂切符ヲ交付ス

第六十二條　國債元金利子若クハ賦金ノ仕拂期事故解融又ハ調查期限後轉入ノ爲メ大藏省ヨリ令達シタル金額ニ超過スルトキ及事故解融ノ爲メ會計ノ整理期限後ニ於テ元金利子若クハ賦金ノ仕拂ヲ請求スルモノアルトキハ北海道廳長官府知事縣令ハ其事由ヲ具シ支出ノ請求書（從來ノ書式ニ據ル）ヲ製シテ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第六十三條　大藏省ハ前條ノ請求ヲ受ルトキハ之ヲ審查シ其ノ仕拂ヲ達ス

第六十四條　北海道廳長官府知事縣令ハ前條ノ令達ヲ受ルトキハ第五十七條ヨリ第六十一條マテノ手續ニ據リ仕拂ヲ執行セシム

第六十五條　起業公債金札引換無記名公債中山道鐵道公債外國公債ノ元利金ハ規則第六十條ニ據リ其支出額ヲ定メテ大藏省ヨリ各其取扱銀行ヘ現金ヲ交付シ其仕拂ヲ執行セシム

第六十六條　本章各條ニ歷擧スルモノヽ外ハ總テ第十條ヨリ第十六條マテ第三十一條ヨリ第三十五條マテ及第三十七條第三十八條ノ手續キニ據ル

第四章　年金恩給諸祿

第六十七條　北海道廳長官府知事縣令ハ年金恩給「一時賜金ヲ除ク」若クハ諸祿ノ交付期節每ニ其支出スベキ金額及仕拂場所ヲ取調ベ第八號書式ニ準シ其仕譯書ヲ製シ內譯明細書ヲ添付シ交付期月ノ三十日前ニ之ヲ大藏省ヘ發送ス

第六十八條　大藏省ハ前條仕譯書ニヨリ北海道廳長官府知事縣令ニ年金恩給若クハ諸祿ヲ交付スベキ令達ヲナス

第六十九條　北海道廳長官府知事縣令ハ前條ノ令達ヲ受ルトキハ其

仕拂ヲ會計主務官ニ命ス但支廳ニ於テ支出ヲ要スルモノアルトキハ其支出ヲナスベキ旨ヲ支廳ノ分任收支命令官ニ達ス

第七十條　支廳ノ分任收支命令官ハ北海道廳長官府知事縣令ヨリ前條ノ令達ヲ受クルトキハ其仕拂ヲ會計主務官又ハ其代理官ニ命ス

第七十一條　會計主務官又ハ其代理官ハ第六十九條若クハ第七十條ノ命令ヲ受クルトキハ第五條ノ手續ニヨリ仕拂ヲ執行ス

第七十二條　仕譯書ニ據リ大藏省ノ令達ヲ得タルヲ以テ會計主務官又ハ其代理官ノ在勤セサル地方ノ金庫ニ宛テ前條ノ仕拂切符ヲ發スルトキハ案內書ヲ該金庫ヘ送付シ仕拂切符ヲ該地方ノ郡區役所ニ送付シテ之ヲ受取人ニ交付シ其領收證ヲ徵セシム

第七十三條　仕拂切符ヲ受取人ニ交付スルトキハ年金ノ仕拂切符ナレハ年金證ヲ檢閱シ恩給ノ仕拂切符ナレハ恩給證書及生存證書ヲ檢閱ス

第七十四條　恩給中一時賜金ハ其支出ヲ要スル毎ニ主管廳ノ收支命令官ヨリ第十五號書式ニ準シテ請求書ヲ製シ仕拂ノ場所ヲ記入シ本人ノ履歷書ヲ添付シ其支出ヲ大藏省ニ請求ス

第七十五條　大藏省ハ前條ノ請求ヲ受ルトキハ之ヲ審查シ其正當ナルトキハ即時承諾ノ旨ヲ通知ス

第七十六條　主管廳ノ收支命令官ハ前條ノ通知ヲ受クルトキハ其仕拂ヲ會計主務官ニ命ス但支部局ニ於テ仕拂ヲ要スルモノハ其仕拂ヲナスベキ旨ヲ分任收支命令官ニ達ス

第七十七條　分任收支命令官ハ前條ノ令達ヲ受ルトキハ其仕拂ヲ會計主務官又ハ其代理官ニ命ス

第七十八條　會計主務官又ハ其代理官ハ順序第七十六條若クハ第七十七條ノ命令ヲ受ルトキハ第七十一條ノ手續ヲナス

第七十九條　年金ノ交付主管廳ハ出願期限後ニ年金受領者ノ奉職地ヲ轉ジタルカ爲メ主管廳轉換願ヲ聞屆ケタルトキハ其姓名新任地幷ニ交付スヘキ金額ヲ詳記シ之ヲ大藏省及新主管廳ヘ報告ス

第八十條　大藏省ハ前條ノ報告ニヨリ新主管廳ニ該年金交付ノ令達ヲナス

第八十一條　新主管廳ハ前條ノ令達ヲ受ルトキハ第六十九條第七十條第七十一條ノ手續ヲナス

第八十二條　本章各條ニ歷舉スルモノ、外ハ第十條ヨリ第十九條マテ第三十一條ヨリ第三十五條マテ及ヒ第三十七條第三十八條ノ手

續キニ據ル

第五章　金庫　大藏省金庫局其出張所現金仕拂所

第八十三條　金庫ハ仕拂切符ノ所有者ヨリ仕拂切符ヲ持參シテ現金ノ仕拂ヲ請求セラレタルトキハ即時之ヲ曩ニ其發行廳ヨリ送付ヲ受ケタル案內書ニ照合シ記帳ノ後直ニ仕拂切符表面ノ金額ヲ交付ス

第八十四條　金庫ハ前條ノ仕拂ヲ終ルトキハ即時引上タル仕拂切符及案內書ノ表面ニ仕拂濟ノ印ヲ捺ス

第八十五條　金庫ニ於テ仕拂金ノ記帳ヲナスハ仕拂切符ニヨリ其所屬年度及科目ハ案內書ニ據テ判別ス

第八十六條　金庫ハ會計主務官又ハ其代理官ヨリ仕拂ノ案內書ヲ受ルトキ豫テ大藏省ヨリ命令セラレタル金額ニ超過スルトキハ即時其案內書ヲ返付シテ仕拂ガタキ旨ヲ通知ス

第八十七條　金庫ハ仕拂期限ヲ經過シタル仕拂切符ヲ以テ現金ノ仕拂ヲ請求セラルヽトキハ其仕拂ヲ謝絕シ仕拂切符ノ交換ヲ請求スヘキ旨ヲ該切符持參人ニ告ク

第八十八條　金庫ニ於テ仕拂ノ請求ヲ受クルトキハ規則第四十九條ニヨリ仕拂ヲナシ難シト見認ルトキハ該切符持參人ニ事由ヲ告ケ其住所姓名ヲ尋問シ且ツ記載シタル預リ證書ヲ交付シテ其仕拂切符ヲ留置ク

第八十九條　金庫ハ前條ノ手續ヲ爲ス可キニ非ルヨリ仕拂切符ノ留置ヲナストキハ即時其事由ヲ詳記シタル照會書ヲ該仕拂切符ニ記名ノ會計主務官又ハ其代理官ヘ發ス

第九十條　金庫ハ前條照會ニヨリ會計主務官又ハ其代理官ヨリ該切符ノ正當ナルヲ保證シ仕拂ヲ請求セラレタルトキハ直ニ之ガ仕拂ヲナシ若シ該切符ヲ其持參人ニ返付センコトヲ請求セラレタルトキハ前日交付シタル預リ證書ニ引換ヘ之ヲ還付ス

第九十一條　仕拂切符ノ仕拂期限ヲ經過シテ尙仕拂ノ請求ナキトキハ金庫ハ豫テ受入レタル案內書ヲ一ケ月三回ニ取纏メ其送付シタル廳ヘ還付ス但會計主務官又ハ其代理官ノ請求アルトキハ其都度案內書ヲ還付ス

第九十二條　金庫ハ已ニ仕拂タル現金ノ返納ヲ受クルトキハ返納告知書ニ接續シタル領收證書用紙ニ第十六號書式ノ如ク領收金額年月日等ヲ記入シ記名捺印シ返納告知書ト接續ノ處ヘ割印シ之ヲ切

斷シテ領收證書ハ返納人ヘ交付ス

第九十三條　金庫ハ前條ノ手續ヲナシタル後返納告知書ノ裏面ニ領收ノ年月日ヲ記入シ金庫印幷ニ取扱主任者ノ印ヲ捺シ記帳ノ上毎日取纏メ翌日迄ニ該返納告知書ヲ發シタル會計主務官又ハ其代理官ヘ送付ス

○第九節　金錢出納計算簿記條例

明治十一年十一月大藏省第五十五號達

今般第四十二號ヲ以テ公達相成候金錢出納簿記ノ儀別冊簿記條例及摸本ニ照準調整可致此旨相達候事

計算簿記條例

第一條　各廳金錢ノ出納計算ハ總テ複記法ニ據テ帳簿ヱ記入スヘシ

第二條　複記法ニ據テ金錢ノ出納ヲ左右ニ大別シ貸借ノ文字ヲ掲ケ以テ對比記入スルノ式トス

第三條　帳簿ヱ記入スル所ノ金員ニ係ル文字ハ總テ亞剌比亞數字ヲ用ユベシ

第四條　帳簿ニ金員ヲ記入スル必ズ事務章程府縣官職制幷處務順序ニ於テ其權限ヲ定ムル所ノ長官局長課長或ハ一時其事ヲ擔任セラレタル士任者ノ印章アリテ信憑證據ト爲スベキ決議報告等ノ書類ヲ得ルニ非サレハ之レヲ記入スベカラス

第五條　帳簿ニ金員ヲ書損スルモ漫ニ削除塗抹ヲ許サス又ハ脫落アルヒ恣ニ補綴糊貼ヲ許サス必ス書損脫落スル所ノ正中ニ二線ヲ橫畫シテ之ヲ消抹シ正字ヲ其上ニ記入スルヲ以テ一般正誤ノ法トス

第六條　帳簿ニ金員ヲ記入スルノ後ヲ決議報告等ノ書類ニ於テ誤謬アリシヲ發見スルヒ輒ク記入ノ金員ヲ訂正スルヲ許サス必ス各主任ヨリ其事由ヲ分晰證明スルヲ待テ然後ヲ正誤ニ着手スベシ

第七條　凡ソ金員ノ記載アル帳簿ハ他ヨリ覽觀ヲ乞フ者アルヒ妄リニ之ヲ展繙セシムルヲ許サス他ヨリ照查ヲ乞フ者アルトモ主簿者自ラ照校シテ其當否ヲ報スヘシ

第八條　凡ソ其日ニ出納スル金員ハ其日ニ於テ帳簿ニ記入調成シ其領收スル所ノ決議報告等ノ書類ニ照查完了スルヲ以テ則トス

第九條　現金受拂簿日記簿原簿豫算簿右四簿ハ大藏卿ノ承認ヲ經サレハ之ヲ增損取捨スルヲ許サス其他補助ノ諸帳簿ハ各廳ノ便宜ニ依リテ之レヲ增損取捨スルヲ許サス

第十條　前條ノ四簿及ヒ補助簿ハ金庫カ又ハ堅牢ノ倉庫ニ藏メ各廳適宜ノ法則ヲ設ケ主簿者ヲシテ日々之レヲ出納監守セシムヘシ

○第十節　歲入下戻金實際支出ヲ要ス

本年三月當省令第三號歲入歲出出納規則書式第六號歲入下戻計算書中ヘ該下戻金實際支出ヲ要スヘキ場所（即チ金庫局又ハ大阪金庫局出張所若クハ國庫金取扱所（出張場ハ除ク）ヲ云フ）ヲ記載スヘシ

但シ歲入報告未濟ノ下戻ヲ請求スル場合ニ在テハ該下戻計算書ヘ其納入セシ金庫ヲ明記シ差出スヘシ

第二章　貸付金取扱

○第一節　諸貸付金整理順序　明治十九年四月大藏省第五號訓令

諸貸付金整理方ノ儀十九年度以後左ノ通心得ヘシ（但書式ハ別ニ送付ス）

第一條　諸貸付金ノ徵收ハ明治十九年「三月」閣令第三號歲入歲出出納規則ニ準據スルモノトス

第二條　諸貸付金ヲ徵收スルニ付テハ明治十九年「三月」當省令第四號歲入取扱順序第十六條第十七條ニ據ル

第三條　諸貸付金ハ左ニ揭グル科目ニ分ツテ整理スヘシ

一舊藩貸　從前ノ舊藩貸ヲ云フ

二勸業貸　從前ノ勸業貸ヲ云フ

三繰替貸　豫備金繰替金　舊島田組貸付金等ヲ云フ

四雜種貸　從前ノ救助貸　雜貸　宮方貸　外債代償　石高貸幷ニ從來雜收入トシテ納入スヘキモノ　內諸過渡金諸拂下代諸貸下料其他訴訟入費償却金等ノ類ニシテ年月賦若シクハ置據ノ後上納スヘキモノ及身代限ノ處分ヲ受ケ追テ身代持直次第上納スヘキモノヲ云フ

第四條　諸貸付金返納期限ニ際シ困難ノ事情等ニ依リ猶豫ヲ請フ場合ニ於テハ各廳限リ六箇月以內ノ延期ヲ與フルコトヲ得

第五條　左ニ揭クル諸件ハ處分ヲ了シタル後其事由ヲ詳記シ計算書ヲ付シ每一箇月取纏メ翌月五日限當省ヘ報告スヘシ

一年賦返納金ヲ繰上ケ又ハ返納年度未定ノ金額ヲ一時ニ上納ヲ願出タルトキ

二舊藩貸付金ニ係ル年賦返納金ヲ利引ヲ以テ一時ニ返納ヲ願出タルトキ（但勸業貸綵替貸及雜種貸ト雖モ別段ノ伺定アルモノハ本項ニ據ル）

三負債主ノ移轉ニ因リ他ノ管廳ヘ引繼キ若シクハ之ヲ引受ケタルトキ

四負債主失踪シタルトキ

五負債主身代限ノ處分ヲ受ケタルトキ

六負債主死亡若シクハ退隱等ニテ相續人ヘ負債ノ義務移轉シタルトキ

第六條　左ニ揭グル諸件ハ事由ヲ詳悉シ處分ノ見込ヲ具シ經伺ノ上處理スベシ

一諸貸付金返納ノ年月賦ヲ變換シ若シクハ負債ノ義務他人ヘ移轉ヲ願出タルトキ

二諸貸付金ニ對スル抵當品ノ增減交換ヲ願出タルトキ

三諸貸付金ノ棄捐又ハ利子ノ減却或ハ免除ニ係ルモノ

第七條　諸貸付返納金ハ每年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ニ現收シタル額ヲ以テ一週年度ノ決算トス

第八條　第五條第二項ノ利引額第三項ノ引繼額又ハ引受額ハ報告ノ月ニ於テ加除スベシ

第九條　第五條第四項ニ係ル未納金額ハ報告ノ月ニ於テ返納年度未定ノ部ヘ組替其三十六箇月經過ノ後尙徵收ノ途ナキトキハ雜種貸中還納未定ノ部ヘ組替ユベシ

第十條　第五條第五項ニ係ル分配金ハ相當ノ科目ヘ收納シ未納金額ハ報告ノ月ニ於テ雜種貸中還納未定ノ部ヘ組替ユベシ

第十一條　第六條第一項返納金ノ年月賦ヲ變換シ又ハ第三項ノ棄捐等ニ係ルモノハ指令日附ノ月ニ於テ加除スベシ

第十二條　左ニ揭グル諸件ハ其期限後十五日以內ニ該廳ヲ發シ當省ヘ送付スベシ

一每年四月一日ノ現狀ニ依リ諸貸付未納金報告（書式第一號）及ヒ返納年度未定內譯表（書式第二號）ヲ調製スルコト

二前項報告書ニ對シ其增減ヲ每年八月一日十二月一日ノ現狀ニ依リ增減報告表（書式第三號）ヲ調製スルコト

三每月納濟ノ金額ハ歲入取扱順序第二十五條ニ準シ歲入報告書ヲ調製スルコト

四前項ノ報告書ト同時ニ勧業貸及繰替貸ノ收入濟仕譯書（書式第四號）ヲ調製スルコト

五第四條ニ依リ諸貸付金ノ返納期限ヲ六箇月以内延期シタルトキハ毎月之レカ報告書（書式第五號）ヲ調製スルコト

第十三條　此整理順序ニ對シ從前ノ當省達中矛盾スル廉ハ廢止ス

○第二節　諸貸下金返納金納方順序　明治十年九月大藏省乙第二十八號達

一諸貸下金穀拂定仕上ノ義是迄毎三ケ月限調整ノ制規ニ候處向後諸向繰替貸下金ヲ除ノ外一周年間一度決算ノ義ト相心得本年七月ヨリ來十一年六月迄ノ部ヲ改正初年トシ年々七月三十日限無遲緩國債局へ可差出右ハ各年度ノ區分ヲ不立未納額ハ年々七月一日ヱ越高ヲ元ニ立納入年賦金ハ各年度ノ分共一周年間現場國債局へ納入天號證領收ノ分ヲ以決算可致尤處分濟年賦各年度相當ノ決算ハ該廳ニ於テ年々整調候儀ト可相心得就テハ負債主ノ内返納年限中事故有之身代限處分相受候者有之節裁判濟分配金多少上納候時ハ其期一時納入ノ積決算相立各年度相當收入金額增減可致置事

但通常貸下金ノ内成規ノ小屋掛料農具代等貸與ノ金額毎期請求方ノ儀ハ昨九年當省乙第六十四號達ノ通且證文書式ノ儀ハ同年乙第五十六號達雛形第二號ニ照準國債局長宛ニ認候儀ト可相心得事

一右貸下金穀拂定帳雛形明治八年五月太政官第八十六號ヲ以達相成候内石高割幷宮方舊藩々貸下ノ部ニ限リ別紙雛形ノ通改正候條本年七月以降ノ分ヨリ右ニ照準整調候儀ト可相心得事

身代限處分ノ者未納額稅外收入勘定帳ヘ組換等ノ儀ハ別紙雛形ニ準シ候儀ト可相心得事

右之通相達候事

○第三節　諸貸下金取扱順序　明治十四年五月大藏省乙第八號達

諸貸下金取扱方之儀別紙之通改正候條明治十四年四月一日ヨリ右ニ照準シ取扱ヘシ就テハ同日ヘ越貸在高ヲ以テ會計年度ニ據リ各年度ノ返納額ヲ區分シ別紙第一號雛形ノ書式ニ據リ證書相認メ此達到達ノ日ヨリ三十日間ニ國債局ヘ差出シ從前ノ證書ト交換ヲ請フヘシ此旨相達候事

但十四年三月三十一日迄ニ本納濟ノ金額ヲ差引十四年四月一日ヘ越未納高ヲ國債局ヨリ通達ニ及フヘキ筈ニ付當時納方順序中ニテ

未タ本納ニ至ラサル分ハ總テ四月以降ノ計算ト爲スヘシ尤國債局ヨリ通達シタル未納額ヲ其廳ノ臺帳(同日迄ニ本納濟ノ分ヲ差引タル未納額)ト對照シ若シ過不足アルトキハ速ニ同局ヘ申出ヘシ且本文ノ通相達候ニ付テハ明治十三年當省乙第十一號達ハ以來相廢候事

諸貸下金取扱順序

第一條　貸下金科目ハ救助貸勸業貸(以上二種從來通常貸付ト單稱セシモノヽ內)外國債代償(從來舊藩々外國債追徵ト稱セシモノ)雜貸(從來通常貸付ト稱セシモノヽ內)宮方貸舊藩貸(以上二種從來接續一稱セシモノ)石高貸ノ七種ニ區分スヘシ

第二條　貸下金證書ハ別紙第一號雛形ノ通會計年度ニ據リ各年度ノ返納額ヲ區分調製スヘシ

第三條　貸下金ノ內年賦延身代限又ハ棄捐取消等ノ處分ニ係リ各年度返納額ニ異動ヲ生スルモ證書ハ其時々交換ヲ要セス就テハ右等ノ事故ニ係ル增減ハ勿論通常返納金トモ別紙第二號雛形ノ書式ニ倣ヒ貸在高增減追調表ヲ調製シ每期勘定帳ト共ニ差出シ而シテ翌年度七月一日ノ未納額ニ基キ新證書ヲ認メ最前ノ分ト交換ヲ請フヘシ

第四條　受拂勘定帳ハ其年七月ヨリ翌年六月迄ヲ四期ニ區分シ每期別紙第三號雛形書式ニ照シ該期中ニ於テ納金本納濟領收證書收稅委員ノ領收證書ト交換濟ノ分ヲ以テ調整シ翌月十日限リ各廳ヲ發遣スヘシ若シ事故アリテ六月迄ニ徵收方不行屆七月以後ニ涉ル分ハ十一月ヲ以テ打切(該年度相當ノ返納額ニ限ルヘシ既往年度滯納ノ分ニテ七月以降納入ノ分ハ翌年度ノ決算タルヘシ)該年度ノ追補勘定ト爲シ(七八九ノ三ケ月ヲ初期トシ十十一ノ二ケ月ヲ次期トス)兩度ニ調製スヘシ尤次期二ケ月ノ分ニ於テ該年度ノ完結ヲ爲スモノニ付右次期迄ニ屬スル本納濟領收證書收稅委員ノ領收證書ト悉皆交換濟ノ後日數十日限リニ調整シ各廳ヲ發遣スヘシ

但勸業貸下金ニ限リ納入金每株明細書ヲ作リ每期勘定帳ニ添ヘ差出スヘシ

第五條　前條十一月末日迄皆納ニ至ラサルモノアレハ其未納額ハ何年度滯納トシ總テ翌年度勘定組ト爲シ其事由金員等詳細具狀シ處分方ヲ伺出ヘシ

第六條　各負債主ト所轄廳トノ間ニ於テ約定及ヒ取扱方トモ總テ從

前ノ通タルヘシ

第七條　負債主逃亡絶家或ハ貧困其他ノ事故ニ依リ返納金棄捐又ハ年賦割換返納猶豫等ヲ願出タルトキハ總テ從前ノ通タルヘシ尤右等上申ノ節ハ貸下高及分借高並返納濟（何年分全納何年分内納）未濟等ノ金員又ハ從前ノ年賦割其他貸下金種類ノ區別等詳細掲記スヘシ

第八條　利引ニ關セス繰上ケ一時納及ヒ舊藩々貸下金利引一時納又ハ身代限之者分配金上納等ノ類都テ各年度ノ納額ニ異同ヲ生スル分ハ第七條ニ準シ拂切高利引高利引割合取立年月等詳細掲記其時々届出ヘシ

第九條　諸貸下返納金ヲ收稅委員ヘ送納ノ際該金額ニ係ル種類ノ科目及納入年度ノ區別ヲ立別紙第四號雛形書式ニ倣ヒ返納證書ヲ作リ同時ニ國債局ヘ送附スヘシ

但返納金收稅委員ヘ送納ノ節同員ヘ宛差出來タル納證及ヒ授受ノ手續ハ從前ノ通タルヘシ

第一號

諸貸下金未納證

○印朱書

一金　何々貸下金未納高

外金　利金

内

金　年號何年度以前滯納ノ分

外金　利金

○但貸下金ノ種類ニ依リ利金ヲ生スル處ヘ掲ルノ例

内

金　同何年度返納ノ約

外金　利金

○但實際人民ヘ貸渡金約定上ニ於テ其年度毎ニ返納ナサヽリシ滯納額ヲ合計セシモノナリ

金　同何年度返納ノ約

外金　利金

○但前同斷相當年度ノ返納約定高ヲ掲ク

金　同何年度返納ノ約

外金　利金

○但前同斷翌年度ヨリ九ケ年間各年度ノ返納額ヲ順次ニ列

諸貸下金未納總額　利金

記シ爾後一ケ年ヲ了レハ又一ケ年ヲ加ヘ年々送リニ一ケ年分ヲ割算シ揭ルモノトス

金　同何年度以降返納ノ約

外金　利金

○但十一ケ年目以降年賦ノ治定セシ金額ヲ合計シテ揭ク

金　返納年度未定ノ分

外金　利金

○但負債主逃亡尋中猶豫及何ケ年間返納猶豫又ハ三五年間賦金減少許可濟滿期以降ノ納額未定ノ類ヲ揭ルモノトス

金　何々貸下金未納高

內書同上

○以下各種ノ貸下金トモ區分記載方總シテ前但書ニ準ス

右ノ通當(府縣)管內人民ヘ貸下金期約之通取立返納可致候也

年　號　月　日　各廳長官姓名印

國債局長

官姓名宛

(第二號表雛形略之)

第三號

明治何年自何月至何月諸貸付金受拂勘定帳

○(用紙勘定帳罫紙袋綴)

各廳名

○高金

一金

○外金

(朱字高金及ヒ外金ノ二項ハ其年度初期ノ書式ニシテ即チ前年度追補勘定未完結中ノ例ナリ)

借在高元利金

○前年度ニ屬スル未納金追補勘定帳ヲ以整理中之分

追補勘定帳ハ該年度ノ未納金ヲ元ニ立書式ハ這ノ例ニ準據シテ編製スヘシ

元金　利金

金　內　內金

金　內　金

救助貸付金

勸業貸付金元利

元金

利金

外國債代償金
雜貸金元利
元金
利金
宮方貸付金
舊藩貸付金
石高貸付金元利
元金
利金
前期ヨリ越未納高
元金
利金
救助貸付金
勸業貸付金元利
元金

金
金 金 金 金
內 內 內 內
金 金 金 金 此譯

利金
外國債代償金
雜貸付金元利
元金
利金
宮方貸付金
石高貸付金元利
元金
利金
本期中他府縣ヨリ引受高
元金
利金
救助貸付金
勸業貸付金元利
元金
利金

金
金 金 金 金
內 內 內 內
金 金 金 金

雜貸付金元利
元金
利金
宮方貸付金
舊藩貸付金
石高貸付金元利
元金
利金
前年度未納金整理中除却ノ分追補決算ヲ經テ尚滯納有之ハ其期勘定帳ヘ「何年度滯納金追補決算帳ヨリ轉記高」ノ一項ヲ設ケ各種類ト元利トヲ區分シテ插入スヘシ尤追補中年賦換等ニテ該勘定帳中減額ニ付セシ分モ是又同樣タルヘシ
決算高
元金
利金
返金高

元金
利金
救助貸付金
何年度分滯納之內本期中納入高
本年度分之內本期中納入高
將來年度之內本期中繰上納入高
勸業貸付金元利
元金
利金
何年度分滯納之內本期中納入高
元金

金
證何號　何號
利金
金
本年度分之內本期中納入高
內金
金
元金
利金
證何號　何號
金
外國債代償金
內譯書式救助貸ニ倣フ
金
雜貸付金元利
內譯書式勸業貸ニ倣フ
金
宮方貸付金
內譯書式救助貸ニ倣フ
金
舊藩貸付金
內譯書式前ニ同シ
金
石高貸付金元利
內譯書式勸業貸ニ倣フ

金
損失高
內金
金
元金
利金
內
救助貸付金
金
何年度分滯納之內本期中損失高
內
金
何月何日伺濟棄捐高金何程之內
金
何月何日上申濟身代限拂切高金何程之內
金
本年度分之內本期中損失高
內
金
何月何日伺濟棄捐高金何程之內

何月何日上申濟身代限
拂切高金何程之內
將來年度分之內本期中
損失高
　金
　內
何月何日伺濟棄捐高
金何程之內
勸業貸付金元利
　元金
　利金
何年度分滯納之內本期中
損失高
　元金
　利金
何月何日伺濟棄捐高
　金
　內
　金
　內
　金
　內
　金
　內
　金
　金

金何程之內
何月何日上申濟身代
限拂切高金何程之內
本年度分之內本期中
損失高
　元金
　利金
何月何日伺濟棄捐
高金何程之內
何月何日上申濟身代
限拂切高金何程之內
將來年度分之內
本期中損失高
　元金
　利金
　金
　內
　金
　內
　金
　內
　金
　金

金　何月何日伺濟棄捐
　　高金何程之內
金　何月何日上申濟身代
　　限拂切高金何程之內
金　外國債代償金
　內譯書式救助貸ニ倣フ
金　雜貸付金元利
　內譯書式勸業貸ニ倣フ
金　宮方貸付金
　內譯書式救助貸ニ倣フ
金　舊藩貸付金
　內譯書式前ニ同シ
金　石高貸付金元利
　內譯書式勸業貸ニ倣フ

損失高ノ內殊ニ棄捐身代限ノ二種類ノミヲ掲ケシハ其一斑ヲ示シタルモノニテ此他一時上納ニ係ル利引高公債證書額面ヲ以返納金ニ充テ實價ト差引間損高逃亡者ニ係レル拂切高舊藩中元入金及何々ニ付取消ノ分等何レモ此例ニ準據シ各種各年度トヲ區分シテ順次列載スヘキヿ

一金　差引未納高
　內金　元金
　　金　利金
金　他府縣ヘ引繼高
　內金　元金
　　金　利金
金　救助貸付金
金　勸業貸付金元利
　內金　元金
　　金　利金
金　外國債代償金
金　雜貸付金元利
　內金　元金

金　利金
金　宮方貸付金
金　舊藩貸付金
內金　石高貸付金元利
金　元金
金　利金

（追補勘定帳ヘ引除クヘキ現年度ニ對スル前年度ノ未納ハ「何年度未納金追補勘定帳ヘ引除高」ノ一項ヲ置其種類ト元利トヲ區分シテ列記爲スヘシ）

改

金　金未納高
內金　元金
金　利金

內

金　救助貸付金
金　勸業貸付金元利
內金　元金

右者年號何年（自何月至何月）諸貸付金受拂書面之通相違無之候也

年號月日

國債局長
官姓名宛

金　利金
金　外國債代償金
內金　雜貸付金元利
金　元金
金　利金
金　宮方貸付金
金　舊藩貸付金
內金　石高貸付金元利
金　元金
金　利金

（追補勘定帳ノ分ハ受拂ノ上ヘ「何年度未納金」ノ六字ヲ加ヘ又最後ニ差出スヘキ分ヘハ相違無之ノ下ヘ「就テハ該年度中返納金其他脫落等一切無之」ノ十九字ヲ加フヘシ）

各廳長官姓名印

○第四號　證

○年號何年何月何日收稅委員ヘ送納

一金　諸貸下金返納總額

內金　元金

金　利金

此譯

金　救助貸付金

內

金　年號何年度分

金　年號何年度分滯納來年度以後可上納內一時上納

金　勸業貸付金元利

○內譯同上但シ毎項元利ヲ區分スヘシ以下利金アルモノハ皆倣之

○以下外國債代償雜貸宮方貸舊藩貸石高貸トモ右ニ準ス

右返納候也

年號月日　各廳長官姓名印

國債局長

官姓名宛

○第四節

諸貸下金未納證書等調成方心得　明治十九年一月　大藏省第九號達

諸貸下金未納證書及ヒ受拂勘定帳調成方ノ儀十九年度以降左ノ通心得ヘシ

未納證書ハ四月一日ノ現狀ニ依ルヘシ

受拂勘定帳ハ會計年度一回トスヘシ

追補勘定帳ハ調製ニ及ハス

○第五節　預金規則

明治十八年五月太政官第拾三號布告

預金規則左ノ通制定ス

預金規則

第一條　大藏省中ニ預金局ヲ置キ左ノ貯金積立金ヲ預リ之ヲ保管利殖セシム

第一、驛遞局貯金

●愛知縣伺

明治十八年六月廿四日

今般預金規則ヲ制定セラレ且本年第廿四號公達

之旨モ有之ニ依リ本月六日御省第廿八號ヲ以テ其積立金等取調至急申出ヘキ旨御達有之候處從來當縣ニ於テ施行致サセ來候巡査積立金之儀ハ尤之カ收支ノ手數ハ其時々ヲ要スルモノナレハ是等ノモノハ素ヨリ預金局ヘ預ケ入ルヽノ限ニ無之モノト相心得可然哉

○大藏省指令

十八年七月七日

第二　各官廳ノ成規ニ從ヒタル積立金

第三　社寺教會會社其他人民ノ共有ニ係ル積立金ニシテ其請願ニ據ルモノ

第二條　預リ金取扱手續ハ大藏卿之ヲ定ム

第三條　預リ金ノ利子割合ハ大藏卿之ヲ定ム

第四條　預リ金ニ關スル損益ハ國庫ノ負擔トス

第五條　預リ金ノ證書ハ賣買讓與又ハ書入質入スルヲ得ス

第六條　預リ金ノ運用ハ日本銀行ヲシテ取扱ハシムルモノトス

第七條　大藏卿ハ便宜ノ地ヲ撰ミ預金局出張所ヲ設置シ又ハ國庫金取扱所ヲシテ預リ金受渡ヲ取扱ハシムルコトアルベシ

第八條　預リ金ノ受渡ニ屬スル證書ハ證券印稅ヲ納ムルニ及ハス

右奉　勅旨布告候事

○明治十八年五月第貳拾四號（官省院廳府縣ヘ）達

各官廳ノ成規ニ從ヒタル積立金ハ第拾三號布告ニ據リ渾テ其官廳ノ名義ヲ以テ大藏省預金局ヘ預ケ入ルヘシ此旨相達候事

但取扱手續等ノ儀ハ大藏省ヘ協議スヘシ

○第六節　預金取扱手續

明治十八年六月大藏省第八十八號告示

伺之趣預金規則第一條第二項ニ據リ預金局ヘ預ケ入候儀ト可相心得事

但受渡手續等ノ儀ハ預金局ヘ協議スヘシ

●滋賀縣伺

明治十八年六月十二日

本年第三號公布ヲ以預金規則制定相成次テ第廿四號公達貴省第廿八號御達ニ付左ノ件々御指揮相仰度

第一　規則第一條第二項ニ該

本年五月第十三號布告預金規則第一條第三項社寺教會々社及人民共有ニ係ル預金取扱手續左ノ通相定ム

但施行日限及利子割合ハ追テ新聞紙ヲ以テ廣告ス

右告示候事

預金取扱手續

第一條　預ケ金受渡ハ東京ハ預金局各地方ハ國庫金取扱所（稅關國庫金取扱所ヲ除ク）ニ於テ取扱フモノトス

第二條　預ケ金ヲ分チテ通常定期ノ二種トス

第三條　通常預ケ金ハ金額ヲ限テス拂戻期限ヲ定メサルモノトシ定期預ケ金ハ金額百圓以上期限ヲ滿六ケ月ヨリ十八ケ月迄トス

第四條　通常預ケ金ヲ始メテ預ケ入ルトキハ申込書（第一書式）及印鑑二枚其預リ所（東京ハ預金局各地方、國庫金取扱所ヲ云フ以下同シ）ニ差出スヘシ

第五條　預ケ主ハ預リ所ニ於テ預金通帳ヲ受取リ預ケ金ヲナス毎ニ之ヲ其預リ所ニ差出シ金員及年月日ノ記入預リ所ノ印主務者ノ調印ヲ受クヘシ

第六條　預金局ヘ直ニ預ケ入タル通常預ケ金ノ拂戻ヲナストキハ請求書（第二書式）ニ通帳ヲ添ヘ預金局ヘ差出シ其金員ヲ受取ルヘシ

當スル積立金本縣ニ在リテハ備荒儲蓄金巡査積立金ノ類ニシテ備荒儲蓄金ハ目今可預入分無之候得共漸次徴收スル金額ハ追テ預入方可取計候巡査積立金ノ儀ハ素ヨリ利殖ノ爲メ積立ノ方法ニ非ス且時々出納頻繁ナルモノニ付該項ニ據リ預金局ヘ可預入限ニ無之候哉

第七條　各地國庫金取扱所ヘ預ケ入タル預ケ金ノ拂戻ヲナストキハ請求書（第二書式）ヲ其取扱所ヲ經テ預金局ヘ差出スヘシ

第八條　預金局ニ於テ前條拂戻請求書ヲ受ケタルトキハ拂戻證書（第三書式）ヲ其請求人ヘ送達スヘシ請求人ハ該證書ノ請取欄内ニ記名調印ヲナシ取扱所ヨリ其金員ヲ請取ルヘシ

第九條　拂戻金ハ其拂戻證書ノ日付ヨリ左ノ期日内ニ受取ルヘシ若シ期日ヲ失スルトキハ取扱所ヲ經テ更ニ預金局ヘ其證書ノ書換ヲ請求スヘシ但郵便遞送中ニ生シタル事故ニ因ルモノハ此限ニアラス

東京ヨリ
- 百里未滿　二十日
- 二百里未滿　三十日
- 二百里以外　四十日

第十條　通常預ケ金ノ全額ヲ拂戻ストキハ通帳ヲ返付セス又其幾分ヲ拂戻ストキハ預リ所ニ於テ其通帳ニ拂戻金員及年月日ヲ記載シ預リ所ノ印主務者ノ調印ヲナシ之ヲ返付スヘシ

第十一條　通常預ケ金ハ預ケ入レタル月及拂戻ス月ハ其金額ニ利子ヲ付セス但預リ所ヘ預ケ入タル月ヲ以テ預ケ月トシ預金局ヨリ拂戻證書ヲ發シタル月（東京ハ金庫局仕拂切符ヲ交付シタル月）ヲ以テ拂戻シ月トス

第二　同條第三項請願積立金ノ儀曾テ社寺其他ヨリ府縣ヘ管護方請願ニ因リ利殖預ケトナシ有之分則チ同項ニ該當スル如ク相見ヘ候處貴省第廿八號御達文中利殖ノ爲メ預リ其損失ヲ官ニ負擔スヘキモノハ渾テ預金局ヘ預ケ入ルヘキ云々トアルヲ以テ考フレハ請願積立金ハ

第十二條　通常預ケ金ヨリ生スル利子ハ毎年六月十二月ノ兩期ニ分チ之ヲ其元金ニ組入ルヘシ

第十三條　預ケ主ハ毎年三月九月ニ於テ通帳ヲ其預リ所ニ差出シ前條利子ノ記入ヲ受クヘシ

第十四條　元金ニ加ヘサル通常預ケ金ノ利子ハ預ケ金ノ全額ヲ拂戻ストキニアラサレハ之ヲ受取ルヲ得ス

第十五條　一ノ預リ所ヨリ請取タル通帳ヲ以テ他ノ預リ所ニ於テ預ケ入レ拂戻ヲナスヿヲ得ス

第十六條　預金通帳ハ預ケ金受授ノ證トス

第十七條　定期預ケ金ヲナストキハ申込書（第四書式）及印鑑二枚ヲ預リ所ニ差出シ其金員ヲ預ケ入レ定期預リ金證書ヲ受取ルヘシ

第十八條　定期預ケ金ヲ受取ルトキハ其預リ金證書ノ受取欄内ニ元利金額受取ノ記入ヲナシ記名調印ノ上之ト引換ニ其金員ヲ受取ルヘシ

第十九條　定期預ケ金ヲ引續キ預ケ入ルトキハ更ニ期限等ヲ認メタル申込書ヲ左ノ日割ニ據リ其預リ所ニ差出シ置キ滿期ニ至リ新舊證書ノ引替ヲナスヘシ

渾テ同局ニ可預入御主趣ニハ無之唯タ其損益關係アル部分ニ限リ必ス可預入精神ニ候哉疑議ニ亘リ候ニ付從來本縣ニ於ケル請願債立金ヲ左ニ概陳シ以テ其範圍ノ內外ヲ識別致シ度

一預金種類

社寺ヘ內庫

御納付金內務省下賜金信仰者寄附金並工費又ハ開墾資ト

東京ヨリ
二百里未滿
百里未滿

二百里以外

第二十條　定期預ケ金ノ利子ハ預リ所ニ預リタル翌日ヨリ滿期當日迄日步割ヲ以テ計算スルモノトス

第二十一條　金銀貨ヲ預ケ入レ同種類ヲ以テ拂戻ヲ要スル分ハ定期預ケ金ニ限ルモノトス

第二十二條　定期預ケ金ハ其期限內之ヲ引出スコトヲ得ス

第二十三條　預ケ金ヲ直ニ預金局ニ預ケ入ルトキハ金庫局ヘ現金ヲ納付シ仝局ノ領收證書ヲ以テ預ケ入ルモノトシ又其拂戻ヲナストキハ預金局ヨリ出納局仕拂切符ヲ以テ拂渡スモノトス

第二十四條　各地國庫金取扱所ニ於テ取扱ヒタル預ケ金ハ其報告ニ依リ預金局ノ帳簿ニ登記シ仝局ヨリ帳記濟ノ通知書ヲ其預ケ主ヘ送付スヘシ

第二十五條　國庫金取扱所ヘ預ケ金ヲナシタル後左ノ期日迄ニ前條ノ通知書到達セサルトキハ預ケ主ハ其日限ノ翌日ヨリ一週間以內又到達セシモ金員年月日ニ相違アルトキハ到達ノ翌日ヨリ一週間以內ニ其旨ヲ認タル通知書ヲ預金局ヘ發送スヘシ

東京ヨリ
二百里未滿　二十日
二百里以外　五十日

第二十六條　預ケ金拾錢未滿ノ端金ニ利子ヲ付セス

第二十七條　預ケ入申込書及拂戻請求書其他調印ヲ要スル書類ニハ社寺教會々社ニアリテハ其名稱ヲ記シ且押印ヲナシ其擔當者一名ヲ記名調印シ又二人以上ノ共同ニ係ルモノハ其總代人一名記名調印ヲ主ト看做シ又共同ニ係ル預ケ金ハ其總代人ヲ以テ一個ノ預ケ主ト看做スヘシ

第二十八條　社寺教會々社ノ預ケ金ハ社寺教會々社ヲ以テ一個ノ預ケ主ト看做シ又共同ニ係ル預ケ金ハ其總代人ヲ以テ一個ノ預ケ主ト看做スヘシ

第二十九條　社寺教會々社幷其擔當者及共有預ケ金ノ總代人幷加印者氏名變換又ハ轉住セシトキハ其届書ヲ預リ所ニ差出スヘシ

第三十條　預ケ金擔當者總代人若クハ加印者變更アルトキハ後任者ノ印鑑二枚ヲ添ヘ連署ノ届書ヲ預リ所ヘ差出スヘシ但前任者連署シ能ハサルトキハ證人ヲ立ツヘシ

利割月七厘
乃至年八步
（或ハ每六箇月利割ヲ改ムルモ約スル分モ有之候得共大概平均年利八步位ニ

當ル）其旨金主ヘ報道シ置而シテ毎半季利子ヲ取立金主ヘ交付スルアリ又ハ毎半季元金ヘ結込漸次利倍スルアリ

一返還期限

利倍ノ方法ニテ預ケタルモノハ證書通帳トナシ付込期限五箇年乃至十箇年トシ渾テ無期限ニテ臨時入用アレハ十五日間又ハ壹箇月前ニ通知納メノ約定ニ有之候

一損益關係

右ノ約定ニテ貸下而シテ利割ノ高低ハ勿論金主ヘ時々報道スルモノニテ損失ヲ官ニ負擔スヘキ結約等ハ無之候

右之性質ナルニ因リ預金局ヘ可預入限ニ

第三十一條　預金通帳定期預リ金證書又ハ拂戻證書ヲ失亡セシトキ或ハ汚染毀傷シテ文字印章判明ナラサルトキハ其事由ヲ詳記セシ届書ヲ預リ所ニ差出シ再渡ノ請求ヲナスヘシ但通帳又ハ證書失亡ノ場合ニ於テ再渡ヲ受ケシ後ハ舊通帳又ハ證書ハ無效トシ爾後發見セシトキハ之ヲ預リ所ヘ納付スヘシ

第三十二條　預金通帳又ハ定期預リ金證書ハ大藏省官員ヨリ撿査照合等ヲ要スルヿアルヘシ但該官員臨撿ヲナストキ其證書ヲ携帶スルモノトス

（第壹書式）用紙美濃紙

通常預金申込書

何神社
何寺
何教會　何々金預ケ入仕度尤御成規堅ク相守可申候也
何會社
何々共有

明治何年何月何日

何府(縣)何國何郡(區)何町(村)何番地
何神社(何寺)(何教會)何會社印

社寺教會々社ナルトキハ此例ニ倣フヘシ

何府(縣)何國何郡(區)何町(村)何番地
擔當者
氏名印

共有預ケ金ナルトキハ此例ニ倣フヘシ

何府(縣)何國何郡(區)何町(村)何番地
共有金總代人
氏名印

何府(縣)何國何郡(區)何町(村)何番地
加印者
氏名印

預金局長
官氏名殿

（第二書式）用紙美濃紙

預ケ金拂戻請求書

何神社
何寺
何教會　何々金（元利悉皆ノ内金何程）御拂戻被下度候也
何會社

無之哉若必ス可預入モノトセハ同局利割他ニ比較萬一低下ナルトキハ金主迷惑ヲ訴ルモ難計然ルトキハ返還セサルヲ得サル次第ニテ隨テ監護上難行届如何可取計哉

第三　渾テ預金局ヘ可預入金員等取調至急可申出旨貴省第廿八號御達之處右第一第二兩項御指揮相成候上ニ無之テハ調整難致ニ付暫時延期御聞置相成度候

第四　預金取扱手續ハ追テ御達示可相成哉否サレハ御省豫定ノ手續致承知度尤出納ハ預金局出張所又ハ其取扱所等ヘ直接照會何時ニテモ元利金ノ預ケ入及請取方出來可申哉

第五　利子ノ割合ハ土地ノ都鄙及世上時々

何々共有

明治何年何月何日

預金局長

官氏名殿

（預ケ人氏名住所等ノ記載方第一書式ニ同シ）

（第三書式）

番號	第何號	渡
通帳番記號	い何號	先

何神社（何寺）（何教會）（何會社）共有金總代人氏名

預金拂戻證書

一金何程也

内　金何程也　元金

金何程也　利子

右金額此證書引換ニ可相渡候也

明治何年何月何日　預金局長　官氏名　印

何府（縣）

何地

國庫金取扱所

甲號

前書金額正ニ請取候也

何神社（何寺）（何教會）（何會社）（何々共有金）（社寺教會々社ハ其名稱ノ下ニ其印ヲ捺ス）

明治何年何月何日　總代人（擔當者）　氏名　印

加印者　氏名　印

甲號拂戻證書裏面記載文

一拂戻金ヲ請取ルトキハ此證書表面請取證欄内ニ記名調印ヲナシ國庫金取扱所ヘ差出シ之ト引替ニ拂戻金ヲ請取ヘシ

一此證書ヲ以テ拂戻金引換ヲナスハ表面ノ日附ヨリ左ノ期日迄トス

金融之便否且預金種類等ニ據リ高低可有之候乎若シ一定ノ利割ニ候ハヽ豫テ致承知度

第六　利子ハ毎年半季請取候トモ元金ヘ結込積立候ヒ隨意ニ可相成哉且中途ニシテ元利金預ケ入又ハ請取候節ハ十五日前後ヲ以區分シ其月以後又ハ其月迄ノ利子ヲ付セヲルヘキ哉

○大藏省指令
十八年七月廿日
預金規則之儀ニ付會甲第一二七號ヲ以稟申之趣左之通可相心得事

第一項　儲蓄預金ハ預金規則第一條第二項ニ屬セス巡査積金之儀ハ同項ノ範圍內ニ屬スル儀ト心得ヘシ

但儲蓄金ハ縣會ノ決議ニ依リ便宜

（第四書式）　用紙美濃紙

定期預ケ金申込書

一金何程也

右金員何年何月何日迄預ケ入仕度尤御成規堅ク相守可申候也

明治何年何月何日

（預ケ入氏名住所等ノ記載方第一書式ニ同シ）

預金局長
官氏名殿

百里未滿　二十日
東京ヨリ二百里未滿　三十日
二百里以外　四十日

一右ノ引換期日ヲ失シタルカ又ハ此證書ヲ失亡セシ時ハ國庫金取扱所ヲ經テ預金局ヘ申出代リ證書ヲ請求スヘシ

○明治十九年一月大藏省第七號告示
客歳六月第八十八號告示預金取扱手續中出納局トアルヲ金庫局ト改ム
右告示ス

○第七節　科料罰金徴收及民事刑事其他一時預金取扱方

明治十九年四月司法省丙第一號令

十九年度以降科料罰金徴收及民事刑事其他一時預リ金取扱方左ノ通相定ム

一科料罰金ハ檢事ノ命令ニ據リ各納人直ニ國庫金取扱所若クハ現金仕拂所ヘ預ケ入レ其預リ書ヲ以テ書記局ヘ上納セシメ書記局取扱主任ハ閣令第三號第五號歳入歳出出納規則第二十七條ニ據リ納付書「大藏省五號書式」ニ右預リ書ヲ添更ニ國庫金取扱所若クハ現金仕拂所ヘ納付シ其領收ヲ證シタル納付書ヲ以テ會計主務官ヘ送付報告ス會計主務官ハ大藏省令第四號歳入取扱順序第二十三條ニ據リ整理スヘキ一民事刑事其他一時預リ金ハ納人ヨリ國庫金取扱所若クハ現金仕拂所ヘ預ケ入レ其預リ書ヲ以テ上納セシメ即日又ハ翌日マテニ國庫金取扱所若クハ現金仕拂所ヘ納付シ管守證書ヲ徴シ置ヘシ而シテ之ヲ拂戻ス時ハ會計主務官ヨリ振出ス支拂切符ヲ以テ支拂フ可シ

一前條ノ內所持金賦金等納人ヨシテ國庫金取扱所若クハ現金仕拂所ヘ預ケ入レ能ハザルモノハ合緘「書記會計國庫金取扱所又ハ現金仕

拂所ノ役員」ノ上其表面ニ金額種類ヲ明記シ國庫金取扱所若クハ現金仕拂所ヘ之ヲ物品トシテ預ケ入レ金額種類ヲ明記シタル預リ證書ヲ徵シ置可シ而シテ之ヲ請戻ス時ハ適宜ノ案内書ヲ發シ合緘者立會開封シ最前ノ預リ證書ト引換ニ授受スベシ（但本條ノ封金大審院裁判所ニ於テハ之ヲ受寄金トシ帳簿ニ載記スベシ）

第二項　預金規則第一條第三項請願積立金トハ社寺會社等ヨリ其請願ニ依リ直ニ預金局ヘ預ケ入ルモノヲ云フ

尤人民ノ請願ニ依リ縣廳ニ預リ之ヲ保管利殖スルモノハ渾テ縣廳ヨリ預金局ヘ預ケ入ルヘキ儀ト心得ヘシ

第三項　第二項ノ通相心得至急金員取調申出ヘシ

第四項　預金規則第一條第二項取扱手續ハ別冊之通心得ヘシ

但右ニ準據シ難キ廉ハ預金局ニ協議スヘシ

第五項　利子割合ノ儀ハ本年六月十二日第五百八拾三號官報當省廣告ノ通但巡査積金

第八節　諸貸附返納金歳入科目

明治十九年九月司法省訓令第二十號

諸貸附返納金歳入科目ノ儀本年五月大藏省訓令第十二號ノ通整理スヘシ

但本文科目ノ款項目ハ第二部歳入科目表中免許及手數料款ノ次位ト心得ベシ

ノ如キ數口ヲ集合セルモノハ特ニ預金局ヘ協議スヘシ

第六項　利子請取方ハ別冊ノ通リ（別冊ハ略ス）

第三章　府縣預金

第一節　府縣預ケ金出納順序

明治十五年六月大藏省第十九號達

明治十三年十二月乙第四十二號ヲ以テ相達候預金出納順序別冊ノ通修正本年七月ヨリ施行候條此旨相達候事

府縣預ケ金出納順序

第一條　府縣預ケ金ハ出納局長ヨリ豫メ第一圖ノ配賦書又ハ電信ヲ以テ員額ヲ通知シ其現金ハ出納本支局又ハ大藏省爲換方ヨリ回送スヘシ

第二條　預ケ金ハ爲換方ヨリ幾回ニモ送致スルニヨリ府縣廳ニ於テハ通知額ヲ目途トシ其全額又ハ其幾分ニ拘ハラス之ヲ領收スル毎ニ第二圖ノ如ク電信ヲ以テ出納局ヘ通知シ且ツ第三圖ノ領收證書ヲ製シ甲印ハ其廳ニ留メ乙印ハ仕出先ヘ交付シ丙印ハ案内トシテ出納局長ヘ送致スベシ尤爲換ニテ送致スルトキハ府縣廳ニ於テハ之

ヲ振込先ニ達シテ現金ヲ持參セシメ廳中ニテ爲換劵ト交換ノ後前ノ如ク電報ヲナシ領收證書ヲ送付スルモノトス

第三條　出納局ニ於テハ前條電信ノ通知ヲ得ルトキハ直ニ預ケ額ニ相立ツベシ

第四條　府縣　交付スル經費金ハ常費臨時費ヲ不論大概此預ケ金ノ内ヨリ交付スベシ又大藏省ノ都合ニヨリ他ノ費用ニモ使用スルヿアルベシ

第五條　預ケ金ノ仕拂ハ出納局長ヨリ第四圖ノ如キ仕拂切符ヲ交付スベシ故ニ此切符引換ニアラサレハ使用スベカラス

但電信渡金ハ該順序ニヨルベシ

第六條　預ケ金ハ大藏省ノ都合ニヨリ預ケ高悉皆又ハ其内何程歟ヲ臨時還納セシムル事アルベシ然ルトキハ出納局長ヨリ第五圖ノ如キ書面ヲ以テ通達スベシ府縣廳ニ於テハ現金ヲ納先（本局又ハ支局）ヘ送致シ領收證書ヲ取置クベシ

第七條　預ケ金ハ別ニ第六圖ノ預ケ金差引簿ヲ設ケ受拂ヲ整理シ毎月第七圖ノ如キ報告表ヲ作リ之ニ其月中現金拂渡濟ノ出納局仕拂切符ヲ添ヘ翌月三日迄ニ其廳ヲ發シ出納局ヘ差出シ尚又毎年七月一日ヨリ翌年六月三十日ニ至ル決算表二通ヲ作リ同局ヘ差出スベシ同局長ハ其一通ヘ第八圖ノ如ク裏書證印ノ返戻シ之ヲ以テ預金決算ヲ了シタルモノトス

第一圖

年月日	第　號	縣名
一金		
但（出納局）（何地支局）（何地爲換方）ヨリ送金		

截切ノ線
出納局長押印
……○……花……紋……○……
主任押印

第二圖

第　號

一金

但（出納局）（何地支局）（何地爲換方）ヨリ

送金

右金額御縣ヘ預ケ金ニ配賦致置候條此段及御通知候也

年　月　日　　出納局長氏名印

縣令宛

第三圖

○出納本局ヨリ回送セシトキノ例

チアツケキンナンマンエンホンジツウケトル

○出納支局又ハ大藏省爲換方ヨリ回送セシトキノ例

チアツケキンナンマンエン（ナニチシキヨク）（ナニチカワセカタ）ヨリウケトル

甲

年　月　日

第　號

第何號配賦高金何程ノ內

一金何圓

但何地爲換方ヨリ受入

截切ノ線縣令ノ押印

主任押印

乙　第　號

一金

右領收候也

年　月　日　仕出先宛　縣令氏名印

截切ノ線上下共同斷

○……花紋……○

丙　第　號

第何號配賦高金何程ノ內

一金何程

右現金當縣預金トシテ本日領收候條此段及御通知候也

年　月　日　縣令氏名印

第四圖

出納局長宛

年月日　證　號　渡先

一金

但

截切ノ線出納局長押印

○……花紋……○

第　號　渡先

一金

主任押印

第五圖

一金何程

右ハ御預ケ金ノ内前書ノ金高當地或ハ（何地出納支局）（何地大藏省爲換方）ヘ向ケ御回送可有之尤右金遞送方ハ便宜ヲ以テ御差送可有之候也

年　月　日

縣令宛

出納局長氏名印

記

右ニ書載ノ金高此證書引換ニ可相渡候也

年　月　日

縣令宛

出納局長氏名印

第六圖

洋銀

殘		
圓	錢	厘

貨　　壹圓銀貨ノ又ハ補助銀貨、銅貨、紙幣、

殘			摘要	借			貸			年月日號
圓	錢	厘		圓	錢	厘	圓	錢	厘	

第八圖

第七圖裏面

也候之

日

印

金現日十三月六年何至日一月七年何從)

表告報拂受金現中月何年何

類種	高越			高受			高拂		
金貨	圓	錢	厘	圓	錢	厘	圓	錢	厘
壹圓銀貨									
補助銀貨									
銅貨紙幣									
洋銀									
總計圓									

氏令縣　宛長局納出

日何月何年何

第七圖

(表算決拂受

高納還			高殘引差		
圓	錢	厘	圓	錢	厘

印名

金

借	要摘	號日年月

○第二節

諸縣預ケ金ノ內電信渡取扱順序

但四月一日ヨリ施行候義ト可相心得候事

第一條　電信ヲ以渡金ヲナスハ非常或ハ止ムヲ得ザルノ事故アルニ非サレハ決シテ施行スヘカラス

第二條　此電信渡ハ預ケ金アル縣エハ勿論各省局出張所或ハ他ノ府縣其他一時出張ノ官員等ヘモ此渡金ヲナスコアルヘシ

第三條　此渡金ヲナスヤキハ出納局長ヨリ第一圖（預ケ金アル縣ヘ渡スヤキハ甲號其他ハ乙號）ノ文例ニヨリ電信ヲ以其渡金ヲナス所ノ縣令ヘ通達スヘシ

第四條　此電信ハ必ス暗號ヲ用ユルヲ例トス故ニ此暗號ハ令及書記官ノ外他見ヲ禁スルモノトス

但暗號ハ出納局ニ於テ右電信ヲ以通達ヲ爲シ尚其後成規ノ預ケ金仕拂切符ヲ製シ第二圖（預ケ金アル縣ヘ渡セシハ甲號其他ハ乙號）ノ如ク裏面ヘ渡シ濟ノ旨ヲ記載シ渡シ濟ノ縣令ヘ交付スヘシ

第五條　出納局長ヨリ通達スヘシ

第六條　縣ニ於テ右ノ電信ヲ得ハ之ニ據リ通常本拂ノ手續ヲ以渡シ金ヲナシ而シテ第四圖（預ケ金アル縣ヘ渡セシハ甲號其他ハ乙號）ノ如ク電信（暗號ニ不及）ヲ以テ渡濟ノ旨出納局ヘ報告スヘシ尤此電信渡ハ預ケ金アル縣ハ追テ仕拂切符到着マデ電信ヲ證據ト爲スヘシ其渡響各省局出張所或ハ他ノ府縣其他一時出張ノ官員等ナレハ渡金ノ際第三圖ノ如ク假證書ヲ取出スヘシ尤此假證書ハ各省局出張所或ハ他ノ府縣ナレハ其長官其他一時出張ノ官員等ナレハ受取金ヲナス當人ノ證書ニ限ルヘシ

但暗號ニ不審アルトキハ暗號電信ヲ以明瞭マテ何ケ度ニテモ通問スヘシ

第八條　右ノ渡シ金ヲ爲シタル後成規ノ預ケ金仕拂切符到着スレハ

無遲滯　決算相當　月　日　名
證印　員　年　氏
金之書表　長　局　納　出

聶ノ電信ニ照査シ成規ノ受取證書ヲ製シ出納局（差出スベシ其渡シ嚮各省局出張所或ハ他ノ府縣其他一時出張ノ官員等ナレバ出納局仕拂切符引換ニ假證書ヲ返却スベシ

第一圖

甲

アヅケキンノウチヨリ。ソノケン。ナニヒトシテナンマンエン。ウタツノ。

縣令宛

乙

アヅケキンノウチヨリ。ナンマンエン。ナニショウ（或ハ何局出張所府縣某等）ヱ。ワタスベシ。

縣令宛

出納局長氏名

第二圖

預ケ金仕拂切符裏面

表書之金何程ハ何月何日電信ヲ以相渡候分ニ有之候也

年月日　出納局長氏名印

渡嚮宛

預ケ金仕拂切符裏面

表書之金何程ハ何月何日電信ヲ以相渡候分ニ付此仕拂切符ハ速ニ何縣ヱ差出シ嚮ニ差入之證書ト引換可被申候也

年月日　出納局長氏名印

渡嚮宛

第三圖

假證

一金何程

右金正ニ受取候也

年月日

縣令氏名宛

受取人　印

追而出納局仕拂切符ト引換可申分

第四圖

甲

ナンニチ。デンダツノ。ナンマンエン。ホンジツ。アヅカリキンヨリ。ハライダス

出納局長宛

縣令

乙

ナンニチ。デンタツノ。ナンマンエン。ホンジツ。アヅカリキンヨ

リ。ワタシタリ　出納局長宛　縣令

●第四章　經費

○第一節　經費金支出條規　明治十七年七月太政官第六十一號達

經費金支出條規左ノ通相定來ル十八年度ヨリ施行候條此旨相達候事

第一條　各廳ノ經費金支出條規

スヘシ

第二條　各廳ノ經費ハ其一周年度中ニ係ル支出ノ月額ヲ定ムヘシ但

支出期節ノ豫定シ難キモノハ此限ニアラス

第三條　經費豫算額ノ裁定アルトキハ各廳長官ハ支出額ノ仕譯書ヲ

大藏卿ヘ送付シ其調查ヲ受クヘシ

第四條　前條ノ調查ヲ受ルニアラサレハ各廳長官ハ仕拂ヲ請求スル

コトヲ得ス但年度ノ初一ケ月分ハ年額十二分ノ一ニ超ヘサレハ調

查ヲ受サルモ仕拂ヲ請求スルコトヲ得

第五條　仕譯書ヲ出シタル後期節金員ニ變更ヲ要スルコトアルトキ

ハ其都度訂正仕譯書ヲ大藏卿ヘ送付シ更ニ調查ヲ受ルニアラサレ

ハ仕拂ヲ請求スルコトヲ得ス

第六條　各廳長官ハ大藏卿ヨリ仕拂請求書ノ承認ヲ得ルニアラサレ

差出シ其承認ヲ受クヘシ

第七條　各廳長官ハ經費ノ支出ヲ要スル毎ニ仕拂請求書ヲ大藏卿ヘ

ハ仕拂切符ヲ發行セシムルコトヲ得ス

第八條　大藏省ハ仕拂切符ヲ受ルニアラサレハ現金ヲ仕拂フコトヲ

得ス

第九條　經費金ノ支出ハ大藏省開廳時間ニ限ルモノトス但臨時急施

ヲ要スルモノハ此限ニアラス

第十條　在外各廳ノ經費ハ年額ヲ四分シテ大藏省ヨリ金員ヲ交付ス

ヘシ

但每會計年度第一期分ノ交付額ハ前年度ノ豫算額ニ據ル

第十一條　在外各廳ハ每月其仕拂タル金員ノ精算書ヲ製シ翌月七日

マテニ其地ヲ發シテ之ヲ大藏省ヘ送付スヘシ

第十二條　陸軍ノ行軍費海軍ノ航海費ニ限リ計算書ニ依リ其都度現

金ヲ交付スルコトアルヘシ

●靜岡縣伺　明治十九年五月五日

移轉費ノ儀ハ集治監入囚徒護送ノ都度管下沿道各警察署於テ該署諸費ノ內ヲ以テ囚人賄料人力車賃橋錢藥價等一時繰替置其實費請求ニ依リ支出取計來リ候處十九年度以降ト雖モ右ニ取計可然哉若シ然ラサレハ他府縣ヨリ護送ノ囚人通行ニ際シ差支候ニ付該費ニ限リ豫メ沿道警察署ヘ概算ノ支出取計可然哉尤後段ノ如ク概算支出取計候モハ正當受取證書ハ月々歲出報告書ヘ添付致兼候ニ付一周年度決算ノ節ニ至リ取束テ進達シ可然哉

○內務省（指令）

第十三條　前條ノ金員ヲ受取タル主任ノ會計官吏ハ毎月其仕拂タル金員ノ精算書ヲ製シ翌月七日マテニ其滯在地若クハ碇泊地ヲ發シテ之ヲ大藏省ヘ送付スヘシ

第十四條　在地方各廳ハ第三條ノ仕譯書調査濟ノ通知ヲ得タル後經費ノ支出ヲ要スルトキハ支出金員ノ仕拂明細書ヲ大藏卿ノ指名シタル現金仕拂所ヘ送付シ仕拂切符ヲ發行スヘシ

第十五條　在地方各廳ハ毎月支出シタル金員ノ精算書ヲ製シ翌月七日マテニ其廳ヲ發シテ之ヲ大藏省ヘ送付スヘシ

第十六條　現金仕拂所ヲ設置セサル地方ニ各廳ノ支部局アルトキハ大藏省ハ便宜ノ方法ヲ設ケテ其經費金ヲ交付スヘシ

第十七條　前條ノ支部局ハ毎月仕拂タル金員ノ精算書ヲ製シ翌月五日マテニ其地ヲ發シテ之ヲ主管廳ヘ送致シ主管廳ハ到達後三日以内ニ之ヲ大藏省ヘ送付スヘシ

第十八條　此條規ニ關スル取扱ノ細則ハ大藏卿之ヲ定ムヘシ

第十九條　現行法規中此條規ニ抵觸スル條項ハ廢止ス

○明治十七年十月太政官第九十號達

本年七月第六十一號達經費金支出條規施行ノ儀ハ一箇年度延期シ來ル明治十九年度ヨリ施行候條此旨相達候事

○第二節　經費金支出條規細則

明治十八年五月大藏省第二十一號達

經費金支出條規細則左ノ通相定候條此旨相達候事

但書式ハ別ニ交附スヘシ

經費金支出條規細則

第一條　經費金支出條規第二條但書ニ掲クル支出ノ月額期節ヲ豫定シ難キモノハ從價視品實上代救助費難破船費歐疫費機密費一時賜金惠與訴訟入費トス

第二條　經費金支出條規第三條ニ掲クル支出額仕譯書ハ第一號甲書式ニ據リ正副二通ヲ調製シ豫算額裁定ノ達ヲ受タル日ヨリ七日（休日ヲ除ク）以内ニ其廳ヲ發シテ之ヲ大藏省ヘ送付スルモノトス（以下準之）

支出期節ノ豫定シ難キモノニシテ其期節定マル時ハ更ニ第一號乙書式ニ據リ仕譯書正副二通ヲ調製シ之ヲ大藏省ヘ送付スルモノトス

第三條　經費金支出條規第五條ニ掲クル訂正仕譯書ハ第二號書式ニ據リ正副二通ヲ調製シ之ヲ大藏省ヘ送付スルモノトス

第四條　大藏省ハ第二條第三條ノ仕譯書ヲ受ルトキハ七日以内ニ之

カ調査ヲ了シテ其旨ヲ通知スヘシ

第五條　經費金支出條規第六條ニ掲クル仕拂請求書ハ第三號書式ニ據リ之ヲ調製シ毎月三回（内一回ハ定日渡シノ俸給ニ限ル）仕拂切符ヲ發行セントスル五日前ニ之ヲ大藏省ヘ送付スルモノトス但臨時至急ヲ要スルモノハ其時々仕拂請求書ヲ差出スモノトス

第六條　大藏省ハ前條ノ仕拂請求書ヲ受ルトキハ三日以内ニ之カ調査ヲ了シ認否ノ通知ヲナスヘシ但臨時至急ヲ要スルモノハ即時之カ調査ヲ了スヘシ

第七條　各廳ノ會計主務官吏ハ其長官ノ支出命令ヲ受ルトキハ第四號書式ノ切符ヲ調製シ案内切符ハ出納局若クハ現金仕拂所ヘ送付シ仕拂切符ハ受取人ヘ交付スヘシ

第八條　經費金支出條規第十條ニ掲クル在外各廳ノ經費ハ其送金ヲ要スル期節ノ三十日前ニ主管廳長官ヨリ第五號書式ノ送金請求書ヲ調製シ之ヲ大藏省ヘ送付スルモノトス

第九條　大藏省ハ前條ノ送金請求書ヲ受ルトキハ調査ノ後期日迄ニ送金ノ手續ヲナシ同時ニ主管廳長官ヘ其旨ヲ通知スヘシ

第十條　在外各廳ハ金員ヲ受取タルトキハ第六號書式ノ領收證書ヲ大藏省ヘ送付スヘシ

第十一條　經費金支出條規第十二條ニ掲クル陸軍ノ行軍費海軍ノ航海費ヲ請求セントスルトキハ第七號甲書式ノ計算書ヲ調製シ現金ヲ受取ントスル五日以前ニ之ヲ大藏省ヘ送付スルモノトス但臨時至急ヲ要スルトキハ第七號乙書式ノ計算書ニ據ルモノトス

第十二條　大藏省ハ前條ノ計算書ヲ受ルトキハ三日以内ニ之カ調査ヲ了シ其旨主管廳ヘ通知スヘシ但臨時至急ヲ要スルトキハ即時之カ調査ヲ了スヘシ

第十三條　前條主管廳ノ會計主務ノ官吏ハ支出命令ヲ受タルトキハ主任ノ會計官吏ヲ請取人トシテ仕拂切符ヲ發行シ金員ノ交付ヲ受クヘシ但大藏省ノ便宜ニ依リ途次ノ出納局若クハ現金仕拂所ニ於テ金員ノ幾部分ヲ交付スルコトアルヘシ

第十四條　東京以外ノ地ニ於テ第十一條ノ經費ヲ受取ントスルトキハ電信ヲ以テ大藏省ヘ通知ノ上計算書ヲ出納局若クハ現金仕拂所ヘ送付シ直ニ切符發行ノ手續ヲナスモノトス

第十五條　經費金支出條規第十四條ニ掲クル仕拂明細書ハ第八號書式ニ據ルモノトス

第十六條　現金仕拂所ヲ設置セサル地方ニシテ會計主務官吏ノ設ケタルアル各廳ノ經費金ハ第二條ノ仕譯書ニ據リ大藏省ヨリ其會計主務官吏ヘ金員ヲ交付スヘシ

第十七條　前條ノ會計主務官吏ハ其交付金ヲ受クルトキハ第六號書式ノ領收證書ヲ大藏省ヘ送付スヘシ

第十八條　會計主務官吏ノ在勤セサル地方ノ各支部局又ハ官吏出張先等ヘ經費金ヲ遞送セントスルトキハ會計主務官吏之カ受取人ヲシテナリ仕拂切符ヲ發行シ案內切符ニ朱書ヲ以テ遞送請求ノ事由ヲ裏書シ之ヲ出納局若クハ現金仕拂所ヘ送付スヘシ

第十九條　出納局若クハ現金仕拂所ハ前條ノ請求アルトキハ仕拂切符ト引換爲換證書（送金手形等）ヲ交付シ會計主務官吏ハ之ヲ本請取人ヘ送付スヘシ但シ爲換證書ヲ交付スル能ハサルコトアレハ金員遞送證ヲ交付シ金員ハ便宜之ヲ遞送シ追テ本請取人ノ領收證ト引替フヘシ

第二十條　會計主務官吏ノ差出スヘキ精算書ハ總テ第九號書式ニ據ルモノトス但所屬ノ主任官吏ヨリ差出スヘキ精算書ハ主管ノ會計主務官吏ヘ送達シ會計主務官吏ハ追書ヲナシ之ヲ大藏省ヘ送付スヘシ

第二十一條　各廳ニ於テ既ニ大藏省ヘ送付シタル精算書ヲ了シ其旨ヲ通知スヘシ

第二十二條　各廳ニ於テ既ニ大藏省ニ請求セシ金額ノ內其月中ニ案內切符ヲ發セサルトキハ其旨ヲ大藏省ヘ報告シ又事故アリテ取消ヲナサントスルトキハ第十號書式ノ取消仕譯書ヲ調製シ其時々之ヲ大藏省ヘ送付スルモノトス

第二十三條　在地方各廳ニ於テ既ニ現金仕拂所ヘ送付セシ仕拂明細書ノ內其月中ニ案內切符ヲ發セス又ハ事故アリテ取消ヲナサントスルトキハ第十號書式ノ取消仕譯書ヲ調製シ其時々之ヲ現金仕拂所ヘ送付スヘシ

第二十四條　各廳ニ於テ已ニ仕拂ヒタル金員ノ內返納ヲ要スルトキハ納人ヲシテ現金ヲ出納局若クハ現金仕拂所ヘ持參セシメ第十一號書式ノ預リ證書ヲ以テ會計主務官吏ヘ納付セシムヘシ會計主務官吏ハ第十二號書式ノ領收證書ヲ調製シ之ヲ納人ヘ交付スヘシ

第二十五條　各廳長官ハ前條ノ返納金アルトキハ其預リ證書ニ第十三號書式ノ返納書ヲ添ヘ三日以內ニ其廳ヲ發シテ之ヲ大藏省ヘ送

付スルモノトス

第二十六條　大藏省ハ前條ノ現金預リ證書及返納書ヲ受クルトキハ出納局長ノ領收證書ヲ交付スヘシ

○第三節　國庫出納條規　明治十六年三月第十五號（官省院廳府縣ヘ）達

國庫出納條規別冊之通相定候條此旨相達候事

國庫出納條規

第一條　國庫ハ大藏卿所管ノ金錢ヲ藏置スル處トス

第二條　常用準備ノ出納ハ大藏卿收支ノ傳票ヲ發シ出納局長ヲシテ執行セシム

第三條　大藏卿ノ傳票ハ番號ヲ附シ其番號ハ各廳會計上通シテ用ユルモノトス

第四條　大藏卿ハ便宜ニ依リ各地ニ出納局出張所又ハ大藏省爲換方ヲ設置シ金錢ノ出納ヲ爲サシム其方法ハ大藏卿之レヲ定ム

第五條　收入金ノ受取證書ハ其納主ヘ對シ出納局長之レヲ發シ支出金ノ受取證書ハ出納局長ヘ宛テ其受取主ヨリ差出サシメ以テ收支ヲ了シタル證トス

第六條　收入スヘキ現金ハ出納局及仝局出張所又ハ大藏省爲換方ニ於テ預リ納主ヘ預證書ヲ交附シ納主ニハ該預證書ヲ以テ納附ノ手續ヲ了セシム

第七條　大藏卿ハ國庫金錢管守ノ方法及ヒ之ヲ各廳ニ委托スル方法ヲ定ム

第八條　大藏卿ハ出納局長ニ命シ常ニ金錢ノ種類ヲ區別シ置キ一週間毎ニ現在高ヲ太政官ヘ報告スヘシ

第九條　大藏卿ハ毎月末若干日ヲ剩シ收支ノ傳票ヲ停止スルコトヲ得

●第五章　雜

○第一節　會計年度改正　明治十七年十月太政官第八十九號達

明治七年十月達會計年度ヲ改メ明治十九年度以後其年四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテヲ以テ會計一週年度ト相定候條此旨相達候事

但來明治十八年度ハ同年七月一日ヨリ翌年三月三十一日マテ九箇月ヲ以テ一週年度トシ豫算取計可申事

○第二節　會計雜收入金年度編入方　明治十七年十二月大藏省第九十號達

●福岡縣伺

明治十八年六月十七日

客年十月第八十九號公達ヲ以テ會計年度御改定相成候ニ付十九

今般第八拾九號公達ヲ以テ會計年度改定相成候ニ付雜收入金年度編入方ノ儀左ノ通心得ヘシ

一十八年度　十八年七月一日ヨリ十九年三月三十一日マテノ間ニ於テ收入スヘキ分

一十九年度　十九年四月ヨリ二十年三月三十一日マテニ收入スヘキ分

以後之ニ準ス

○第三節　國稅金營業稅年度區分　明治十九年一月大藏省第一號達

明治十七年第八十九號公達ヲ以テ會計年度改正相成候ニ付テハ國稅金ノ內營業稅ノ如キ一ケ年前後半期ツヽ區分シ上納及ヒ申報致シ來リ候分來十九年度ヨリ右區分ヲ要セス「何年度何年何月何日限收入又ハ隨時收入」ト記載取扱フヘシ

但納稅切符ハ從前ノ通

右相達候事

○第四節　雜收入金上納順序　明治十五年六月大藏省第二十一號達

雜收入金上納順序ノ儀十五年度分以降別紙ノ通改正候條此旨相達候事

雜收入金上納順序

一雜收入ハ森林收入、官有物貸下料、開(市港)場官地貸下料、ヲ以經常雜收入トシ官有物拂下代、雜入、ヲ以臨時雜收入トス

一納人ハ第一號書式ノ納金證書ニ現金ヲ添ヘ大藏省爲換方ニ預ケ入其領收ノ證印ヲ得テ府縣廳(本人ヨリ直ニ府縣廳ニ上納ノ分)若クハ郡區役所(郡區役所ヲ經テ上納ノ分)ニ上納スルモノトス

一郡區長ハ納人ヨリ上納セシ納金證書ヲ一旬日每ニ取纏メ遲クモ三日以內ニ之ヲ府縣廳ニ送納スヘシ

一府縣廳ハ郡區長若クハ納人ヨリ上納セシ納金證書ヲ一ケ月每ニ取纏メ第貳號第三號書式ノ上納證書ヲ添ヘ之ヲ租稅局ニ送付スヘシ

一府縣廳ハ納金證書ヲ租稅局ニ送付以前過納ヲ發見シタルトキハ其現金預ケ人ノ月日納人ノ姓名等ヲ爲換方ヘ通知シ納金證書ハ納人ニ下戻スヘシ納人ハ該證書ヲ爲換方ニ持參シテ現金ヲ受取モノトス

一納金證書租稅局ニ送付ノ後過納ヲ發見シタルトキハ其科目金員及ヒ租稅局領收證書番號(本納未濟ニ係ルモノハ送付ノ年月日)ヲ詳記

年ヲ以テシ即チ自一月至六月營業稅ニシテ一月ニ徵收スルモノハ明治何年前半年分トシ(新規營業稅モ亦同シ尤地租及酒造稅ノ如キハ何年度第何期トシ調理候可致候)調理候義ニ有之候哉

但果シテ本文ノ通ニ候ハヽ明治十八年度ヨリ右ニ據リ取扱候而不苦候哉

○大藏省指令　十八年七月二

日
伺之趣會計年度
前後半期區分之
義ハ申出之通納
稅切符ハ曆年ニ
依リ納額調書幷
官損拂定除却票
申等ハ前條區分
ニ因リ調理スヘ
キ義ト可相心得
事
但十九年度ニ
リ取扱フヘシ

ヘシ且過納ノ事由ヲ具シテ下戻方ヲ請求スヘシ

一該年度所屬ノ收入金ハ無遺漏蒐輯シ第四號書式ノ上納明細書ヲ製シ八月三十一日限其地ヲ發シ租稅局ニ差出スヘシ
但事故アリテ該年度中上納ニ至ラサルモノアルトキハ其事由ヲ具シ未納明細書（第四號書式ニ準ス）ヲ添ヘ差出スヘシ

（十六年一月第一號達ヲ以テ第四第五第六第七項中大藏省ノ三字ヲ租稅局ト改メ第六項中出納局ノ三字モ租稅局ト改メ尙第二第三號上納證及第四號明細書雛形大藏卿宛ノ四字ヲ租稅局長宛ト改ム）

第一號（用紙適宜　竪四寸五分　横三寸三分　位）

一金何程　○大藏省爲換方預リ證印

但何々

右現金何月何日何地大藏省爲換方（何銀行又ハ何ノ誰）ヘ相預ケ上納候也

年月日　郡區町村番地　納人何之誰印

第貳號（用紙枠罫紙）

一金　何年度　經常雜收入　證

內譯

金　森林收入
內
金　森林諸拂代
金　森林諸貸下料
金　官有物貸下料
內
金　地所貸下料
金　家屋貸下料
金　物品貸下料
金　開（市港）場官地貸下料

右上納候也

年月日　租稅局長宛

長官名印

第三號（用紙枠罫紙）

證

一金　何年度
　　臨時雜收入
　　內譯
　　金　官有物拂下代
　　內
　　金　地所拂下代
　　金　家屋拂下代
　　金　物品拂下代
　　金　雜入
　　內
　　金　贓贖追徵金
　　金　雜收

右上納候也

年月日　長官名印

租稅局長宛

第四號（用紙通常罫紙）

何年度雜收入金上納明細書

某府縣

一金　何年度雜收入金上納明細書

森林收入

但農商務省ヱ差出セシ總計表ニ掲載ノ分

金　內譯

森林諸拂代

品目事由	金員
樹竹林地拂下代	金何程
立木竹拂下代	同
下草拂下代	同
土石料	同
何々	同

金

品目	事由	
樹竹	林貸下料	金　員
何々		金何程
		同

一金　内譯

金

品目	事由	
田畑	貸下料	金　員
原野荒蕪地	貸下料	金何程
萱葭場	貸下料	同
池沼	貸下料	同
社寺境内	貸下料	同
何々		同

森林諸貸下料　三百二十

官有物貸下料

地所貸下料

但内務省ヱ差出セシ總計表ニ掲載ノ分

金

品目	事由	
倉庫	貸下料	金　員
温泉場建物	貸下料	金何程
揮發物貯庫々數	料	同
何々		同

家屋貸下料

金

品目	事由	
蒸瀛船	貸下料	金　員
何器械	貸下料	金何程
備馬	貸下料	同
何々	料	同

物品貸下料

一金

開(市港)場官地貸下料

但内務省ヱ差出セシ總計表ニ掲載ノ分

品目	事由	
外國人官地貸下料	金	員
外國人居留地税	何程	
外國人居留地雜貸料	同	
居留地借受人ニ地券手數料ヲ附與セシ	同	
何々	同	

一金　官有物拂下代

金

內譯

品目	事由	
田畑拂下代	金	員
原野荒蕪地拂下代	何程	
草木生地拂下代	同	
寄洲拂下代	同	

地所拂下代

但內務省ニ差出セシ總計表ニ揭載ノ分

品目	事由	
倉庫拂下代	金	員
建家年賦拂下代本年度分	何程	
何々	同	

家屋拂下代

何々年賦拂下代本年度分	
何々	同

金

內務省ニ差出セシ總計表ニ揭載之部

物品拂下代

品目	事由	
木竹拂下代	金	員
土石料	何程	
秣料	同	
魚鳥料	同	
菓實拂下代	同	

品目	事由
官地盜伐木拂代並追徵金	同誤伐木拂代並追徵金
小計金	金員
農商務省ヱ差出セシ總計表ニ掲載之部	
品目	事由
官林盜伐木拂代並追徵金	同誤伐木拂代並追徵金
小計金	金員
某省指令及ヒ屆濟之部	
品目	事由
罰金	金何程
違約金	同
何々	同
小計金	金員

謹根拂下代	同
何々年賦拂下代本年度分	同
何々	同
小計金	金員
某省指令及ヒ屆濟之部	
品目	事由
不用品拂下代	金何程
何器械拂下代	同
何々年賦拂下代本年度分	同
何々	同
小計金	金員
一金	雜入
內譯	
金	賦贖追徵金
內	
內務省ヱ差出セシ總計表ニ掲載之部	

金　雜收	
內務省ヱ差出セシ總計表ニ掲載之部	
品目事由	金員
何年度地所貸下料年度後追納	金何程
何年度物品拂下代年度追納	同
何年度何々年度後追納	同
小計金	
農商務省ヱ差出セシ總計表ニ掲載之部	
品目事由	金員
何年度森林諸拂代年度後追納	金何程
何年度森林諸貸下料年度後追納	同
小計金	
某省指令及ヒ届濟之部	
品目事由	金員
下掃除代	金何程
公債證書交換手數料	同
訴訟入費償却金	同
得遺失物公賣代	同
何年度經費仕拂殘金年度後追納	同
何々	同
小計金	

右何年度雜收入金上納明細仕譯書面之通有之候也

年月日　　長官名印

租税局長宛

○第五節　年金渡方手續概則

明治十年十二月太政官無號御達

第一欵　賞勳局ハ有功受賞ノ本人ヘ年金下賜ノ儀達シ濟ミノ上年金票ヲ同時ニ本人ヘ付與スヘシ

第二欵　賞勳局ハ年金下賜ノ時々何月幾日（某官某名某府縣原籍ヲモ記載ス）勳何等ニ叙セラレ年金若干ヲ賜リ第何號ノ年金票ヲ下

賜セラレタル旨及ヒ受賞人ヨリ申立タル年金受取場所共詳細大藏省ヘ通報シ同省ニ於テハ此通報ヲ得ルヤ直チニ該金額渡方取計フヘキ地方廳ヘ通達スヘシ

第三款　年金ハ本人管轄廳又ハ寄留ノ地方廳ノ內イツレニ於テモ其便ニ從ヒ受取得ヘキモノニ付受證ノ本人ハ此金票ヲ該廳ヘ持參シ現金ヲ受取ルヘシ若シ其人ニ代理ヲ命セハ委任狀ヲ附シテ之ヲ該廳ニ示スヘシ

第四款　本人又ハ代理此金票ヲ持參セハ其管轄廳又ハ寄留ノ地方廳ニ於テハ之ヲ檢查シ其票一紙ヲ以テ本人終身金額ヲ受取ルヘキ筈ニ付票上證明ノ金額渡濟ミノ上本票ハ之ヲ持參セシ受取人ヘ還附シ別ニ金額ノ收證ヲ出サシム

第五款　地方廳ニ於テハ別ニ一帳ヲ製シ置年金渡シ高月日受取人姓名等明細ニ記シ每年六月十二月現金渡シ濟ミノ上成規ノ通勘定帳ヲ大藏省ヘ差出スヘシ

第六款　年金ハ每年上半ケ年分ヲ六月一度ニ下半ケ年分ヲ十二月一度ニ地方廳ニテ附與スルヲ例トス

第七款　年金ハ一月以降六月三十日迄ノ內ニ附與ノ達シヲ受ケタル者ヘハ上半年分ノ金額ヲ給シ七月ヨリ以降十二月卅一日マテノ內ニ附與ノ達シヲ受ケタル者ヘハ下半年分ノ全額ヲ給スルヲ例トス

第八款　地方廳ニ於テ大藏省ノ達ヲ得ハ其金額ハ第六款ニ據リ同省ヘ請求スヘシ（明治十三年十月十三日御達ヲ以テ右ノ如ク削正ス）

仝十四年十一月大藏省番外達ヲ以テ右ノ如ク削正ス

第九款　勳等年金拜受ノ者其年金授受ノ順序ハ左ノ如シ

一受賞人ノ請願ニ依リ其本管廳又ハ寄留ノ地方廳ニ於テ渡方取計フヘシ因テ金票拜受ノ際金額ノ受取場所ヲ賞勳局ヘ申立賞勳局ハ之ヲ大藏省ヘ通牒シ大藏省ハ之ヲ該廳ニ達スヘシ

二年金受取場所ノ轉換ヲ要スルトキハ其旨本人ヨリ受取期月ノ前々月盡日迄ニ現交付ノ地方廳ヘ願出ツヘシ該廳ハ之ヲ聞届ケ速ニ轉換先ノ地方廳ヘ通牒シ其旨直ニ賞勳局及大藏省ヘ届出ツヘシ

三年金受取場所轉換願出ノ期限ハ前項ニ據ルヘキモノト雖ニ右期限後公務ノ爲メ年金附與ノ期節ニ際シ轉換ヲ要スルトキハ現交付ノ地方廳ヘ願出ヘシ該地方廳ハ聞届ノ上其旨速ニ賞勳局ヘ届出ヘシ

但シ大藏省及新主管廳ヘ報告方ハ本年三月大藏省令第五號歲出取扱順序第七十九條ニ據ルベシ

（明治十八年一月大藏省第一號ヲ達ヲ以テ本款ヲ更正シ仝年四月大藏省第十一號令ヲ以テ再本款ヲ增補改正スルヿ右ノ如シ）

第十款　年金受領ノ本人死去スル時ハ其死去ノ日一月以降六月迄ニ在ルモノハ上半ケ年分七月以降十二月迄ニ至ル者ハ下半ケ年分ヲ給スヘシ

但其年金票ハ最終ノ下附金ヲ給スル時地方廳ヘ之レヲ收シ地方廳ヨリ賞勳局ニ還納スヘシ賞勳局ハ之レヲ大藏省ヘ通牒スヘシ

（明治十一年五月無號ヲ以テ右ノ一款ヲ追加ス）

第十一款　勳等年金拜受ノ者事故アリ姓名ヲ改メシ時ハ本籍戶長ノ奥印アル屆書ヲ本人所有年金證ニ添ヘ現受取場所ノ地方廳ニ出スヘシ地方廳ニ於テハ之ヲ認可シ該年金證ノ裏面ニ何年何月何日改姓名セシコヲ簡明ニ記入シ長官之ニ名印シテ本人ニ却付ス而後地方廳ハ其事由ヲ賞勳局及大藏省ニ屆出ヘシ

但シ年金拜受以來ノ改姓名ニ係ル者ハ都テ此手續ニ據ルモノト

ス

（明治十二年六月無號ヲ以テ右ノ一款ヲ追加ス）

第十三款　勳等年金拜受ノモノ其勳章及年金ヲ褫奪セラレ又ハ勳章及年金ヲ停止セラレタル其區分左ノ如シ（保釋責付亦同シ以下之レニ倣フ）

一重罪輕罪ノ訴ヲ受ケテ拘留ノ後勳章褫奪セラレタルモノハ其拘留セラレシ日ヨリ年金ヲ止ム

二明治十六年第三十九號達第一條第二項第三項ニ依リ勳章ヲ褫奪セラレタルモノハ其褫奪ノ日ヨリ年金ヲ止ム

三輕禁錮以下ノ刑ニ處セラレ勳章褫奪ニ至ラサルモノハ其犯罪ノ訴ヲ受ケテ拘留セラレシ日ヨリ刑期終ルノ日迄年金ヲ給セス

四犯罪ノ訴ヲ受ケ拘留ノ後免訴ノ言渡ヲ受ケタルモノハ其拘留セラレシ日ヨリ放免ノ日迄年金ヲ給セス又無罪ノ言渡ヲ受ケタルモノハ之ヲ給ス

第十四款　年金付與ノ期月ニ至リ前款一項二項ノモノニハ其拘留又ハ褫奪以前ニ係ル分ヲ付與シ又三項四項ノモノニハ其停止中ノ分ヲ扣除シ又ハ扣除セスシテ付與スヘシ若シ拘留及刑期年金付與ノ

期月ニ跨ルトキハ次回ノ期月ニ於テ計算付與スヘシ

年金扣除ノ計算方ハ一ケ年ニ滿タサルモノハ年額ヲ十二ケ月ニ折算シ又一ケ月ニ滿タサルモノハ一ケ月三十日ヲ以テ算スヘシ

但シ月ト日トニ跨ルトキハ皆日數ニ換ヘ年額ヲ乘シ三百六十日ヲ以テ除算スヘシ

第十五款　勳等年金拜受ノ者勳章褫奪又ハ停止セラレタルトキハ賞勳局ハ之ヲ大藏省ニ通報シ大藏省ニ於テハ年金渡方ノ地方廳ヘ達スヘシ

第十六款　勳等年金拜受ノモノ失踪若クハ逃亡スルトキハ其他人ニ代理ヲ命スルト否トニ拘ハラス地方廳ニ於テ年金渡方ヲ停メ置キ他日復歸スルカ又ハ踪跡分明ナルトキハ榮譽ヲ汚辱スルノ所爲アリシヤ否ヲ取調ヘ其所爲之レナキトキハ年金付與ノ期月ニ於テ全額ヲ下付スヘシ若シ其所爲之レアルト見ルトキハ明治十六年第三十九號達ニ依リ賞勳局總裁ヘ具狀スヘシ

但失踪逃亡ノ人又ハ踪跡分明若クハ復歸シタルトキハ（本文具狀ヲ除クノ外）速ニ地方廳ヨリ賞勳局及ヒ大藏省ヘ届出ツヘシ

（明治十六年十月大藏省無號達ヲ以テ十三款以下ヲ追加ス）

▲參看　年金渡方手續概則第八款（明治十三年十月十三日御達）

地方廳ニ於テ大藏省ノ達ヲ得ハ其金額ハ第六款ニ據リ同省ヘ請求スヘシ尤金額付與ノ期月ニ至リ未タ回金アラサルトキハ豫備金ヲ以テ繰替本人ヘ下付スルヲ得

▲參看　年金渡方手續概則第九款（十八年一月大藏省第一號達）

勳等年金拜受ノ者其年金授受ノ順序ハ左ノ如シ

一受賞人ノ請願ニ依リ其本管廳又ハ寄留ノ地方廳ニ於テ渡方取計フヘシ因テ金票拜受ノ際金額ノ受取場所ヲ賞勳局ヘ申立賞勳局ハ之レヲ大藏省ヘ通牒スヘシ

二年金受取場所ノ轉換ヲ要スルトキハ其旨賞勳局ヘ願出且從前ノ地方廳ヘモ届出ヘシ此場合ニ於テ受取期月ノ前々月盡日迄ニ願書接到ノ分ハ其期ヨリトシ右ノ期限ヲ經過セシモノハ次期ヨリ轉換ヲ爲サシムヽ而シテ賞勳局ハ之レヲ大藏省ニ通牒スヘシ

三年金受取場所轉換ハ前項ノ手續ニ據ルト雖モ若シ其期節ニ臨ミ止ヲ得ス至急ヲ要スルアルトキハ乙廳ニ於テ受取度旨ヲ本人ヨリ甲廳ヘ稟請シ甲廳ハ已ニ國債局ヨリ受取タル金額ヲ直

ニ乙廳ヘ回送シ其旨速ニ賞勳局及大藏省ヘ届出ヘシ但此手續ヲ經タルモノハ次期ノ前々月盡日迄ニ更ニ前項ノ願出ヲ爲スヘキモノトス

○第六節　流行病ノ節貧民救療ニ係ル費用支辨方　明治十六年二月太政官第八號達

明治十四年（四月）第三十號達左之通改正候條此旨相達候事

傳染病ニ罹リタル者身元赤貧ニシテ資力ナキトキハ本籍寄留旅行ヲ問ハス其費用ハ總テ發病地ノ地方稅中衞生費ヲ以テ支辨スヘシ

但流行ノ勢盛ナルトキハ時宜ニ依リ官費支給スルコアルヘシ

○第七節　戸長役場諸費支辨方　明治十七年五月內務省乙第貳拾四號達

本年第拾三號布告ヲ以テ地方稅規則第三條第十五項改正相成候ニ付テハ戸長役場諸費ハ總テ區町村費ヲ以テ支辨スヘシ此旨相達候事

○第八節　收入金增減報告概則　明治十三年十二月大藏省乙第四十一號達

收入金增減報告ノ儀本年第五十四號公達ノ趣有之ニ付別紙概則ニ照準可申出尤右報告差出候ニ付テハ（六月）乙第二十七號達收入報告表ノ儀ハ向後差出ニ不及候此旨相達候事

但十二年度分ハ末期ニ至リ取束申出候儀ト可相心得事

收入金增減報告概則

一雜收入大科目（官有物貸下料雜入ノ類）ノ豫算額ニ於テ增減スル時報告ヲ發スルモノトス

一增減ノ種類ヲ分テ三トス

甲　現收ノ超過不及

超過ハ現豫算（最前ノ豫算額ヨリ增額減額ヲ差引タルモノヲ云フ）ニ比シ超過スルヲ云フ不及モ亦之ニ準ス但不及ハ出納閉鎖ノ際ニ於テ算スルモノトス

乙　事項變換ノ增減

假令ハ官有物貸下ノ方法變換スル爲メニ增減ヲ生スルノ類

丙　景況增減

假令ハ官有物拂下代實收ノ多寡ニ因テ增額又ハ減額ニナルヘキヲ認ルノ類

一報告期限

甲　三日間限リ發スヘシ
乙　事項ノ變換發見ノ日ヨリ七日間ヲ限リ發スヘシ
丙　毎三ケ月調理シ毎期ノ翌月五日ヲ限リ發スヘシ（増減ノ目途ナキ時ハ其旨ヲ報スヘシ）

右何レモ其年度出納完結ニ至ル迄送致スルモノトス
一書式ハ別紙ニ準據スヘシ

何年度
雑収入増減表
増額之部

科目	金員	事由
		何ノ廉ニ於テ何々ニ依リ金若干増何ノ廉ニ於テ何々ニ依リ金若干減差引本行ノ通増ス
		朱書（増減ノ事由多キモノハ二行乃至三行ヲ要スルモ妨ナシ品ニ據リ別ニ仕譯書ヲ付添スルモ亦タ妨ケナシ）

額減之部

科目	金員	事由

右ハ何年度雑収入増減書面之通有之候也

年　月　日　　長官名印

大藏卿宛

○第九節　現金管守順序并委託順序

（明治十五年六月大藏省第十六號達）

會計法第二十一條ニ據リ現金管守順序并委託順序別冊ノ通リ相定本年七月ヨリ施行候條此旨相達候事

但委託及ヒ候廳ニ於テ其現金ノ出納ハ銀行又ハ會社ニ命シ取扱ハシムルヲ得ルト雖モ之ヲ命スルハ當省ノ認可ヲ經候義ト可相心得候事

各廳現金管守順序（各條中、點ノ文字ハ明治十六年五月第二十九號達ヲ以テ改正或ハ追加セシト知ルヘシ）

第一條　各廳現金ハ東京ニ於テ出納スルモノハ出納局主任書記官大阪ニ於テ出納スル者ハ出納支局長各地方ニ於テ出納スルモノハ大藏省爲換方ヲシテ取扱ハシムル故ニ授受ノ證書ハ各其署名ヲ以テス

第二條　出納本支局又ハ大藏省現金取扱方ニ於テ收支スル現金ハ年度及經費ノ科目ニ關セス一廳一途ニ之ヲ計算スト雖モ甲廳ノ餘金ヲ以テ乙廳ノ不足ニ流用スルヲ得サルモノトス

第三條　各廳ニ於テ經費ヲ請求スルハ通例ノ請求書ヲ大藏省ニ送致スヘシ然ルトキハ出納局主任書記官其廳ニ代リ假受取證書ヲ以テ之ヲ受取第一圖ノ管守證書ヲ其廳ニ送付ス其廳ハ之ヲ得テ出納局長ニ宛タル例規ノ受取證書ヲ送致ス出納局主任書記官ハ其受取證書ヲ得テ曩ノ假受取證書ト交換スルモノトス

第四條　各廳及支廳ノ經費ニシテ出納支局又ハ各地大藏省現金取扱方ニ於テ收支スヘキモノハ第三條ノ順序ヲ了シ其現金ハ出納局ヨリ便宜遞送ヲ爲シ仕拂ニ供ス尤各支廳經費若クハ諸省ヲ經由シテ交付スル府縣經費（土木營繕警察費ノ類）ハ出納局管守證書ヲ以テ其本廳ヨリ交付ノ順序ヲナスヘシ

第五條　各廳ニ於テ繰換假渡又ハ過渡等ノ如キアリテ之ヲ收入セントスルトキハ第二圖甲號ノ納付證書ヲ納入ヘ渡シ之ヲ納付セシムルトキハ之ヲ領收シテ第二圖乙號ノ如シ奥書證印ヲナシテ之ヲ返戻シ其金額ハ重複受入トシ再ヒ現金ニ加算シ而シテ其廳ヘ管守證書ヲ送付スヘシ

第六條　各廳ニ於テ現金ノ仕拂ヲ要スルトキハ出納本支局又ハ大藏省現金取扱方ヨリ回付シアル第三圖ノ切符用紙ヘ金員及番號年月日等ヲ記載シ會計主務官吏之ニ證印シ其仕拂切符甲號ハ受取人ヘ渡シ乙號ハ按内トシテ出納本支局又ハ大藏省現金取扱方ヘ送致スヘシ

第七條　各廳ニ於テ仕拂切符ヲ交付セシ以後ハ現金受取人ト關係ナキモノトス故ニ出納本支局又ハ大藏省現金取扱方ニアッテハ乙號案内切符ヲ得テ帳記上各廳部ヲ拂出シ更ニ未渡部ノ科目ヲ設ケテ之ニ移シ置後日甲號切符ヲ得ルニ及ンテ其未渡部ヲ拂出シ決算ヲ了ス

第八條　出納本支局又ハ大藏省現金取扱方ニ於テ甲號切符ヲ受取タルトキハ印鑑幷乙號切符ニ照シテ後現金ト交換スヘシ萬一持參ノ切符ニ付事故有之トキハ出納局長之カ處分ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條　出納本支局共休日ヲ除ノ外每日出廳時限ヨリ退廳時限マテ現金ノ拂渡ヲナスヘシ（大藏省現金取扱方拂渡時限モ之ニ準ス）萬一休日又ハ退廳後ニ於テ非常至急ヲ要スル仕拂金アルトキハ其廳ニ於テ甲號切符ヘ（非常渡）ノ印ヲ捺シ會計主務官吏證印ヲ捺シテ受取人ヘ渡スヘシ然ルトキハ出納本支局大藏省現金取扱方共時限ヲ問ハス現金ヲ拂渡スヘシ

第十條　各廳現金ノ收支ハ出納本支局ニ於テ每年七月一日ヨリ翌年六月三十日ニ至ル第五圖ノ如キ決算書ヲ製シ七月三十一日迄ニ各廳ニ送致シ其殘高アルトキハ之ニ對シ更ニ第六圖ノ管守證書ヲ送付スヘシ大藏省現金取扱方ニ於テ收支ヲ取扱タルモノモ亦出納局ヨリ決算書ヲ送付ス

但決算濟ニ至ラハ仕拂切符ハ便宜出納局ニ於テ斷裁スヘシ管守證書ハ各廳ニ於テ便宜之ヲ消却スヘシ

第十一條　各廳經費金殘餘アリテ還納セントスルトキハ其現金出納本支局ニ管守スル分ハ仕拂切符ヲ送付シテ更ニ假納證書ヲ得之ヲ以テ還納ノ順序ヲ爲スヘシ大藏省現金取扱方ニ管守スル分ハ仕拂切符ニ納金證書ヲ添送付シテ大藏省爲換方ヘ預入ヲ爲サシメ其納金證書ヘ領收ノ證印ヲ得之ヲ以テ還納ノ順序ヲナスヘシ

第十二條　各廳現金中金銀貨幣ハ管守證書ニ其種類ヲ明記スルモノトス故ニ各廳ニ於テ仕拂ヲナスヘキモ亦其仕拂切符ニ種類ヲ明記スヘシ其他ノ通貨ハ單ニ金ト稱シ種類ヲ明記セサルモノトス

第十三條　各廳ニ於テ他方ヘ遞送スヘキ金額アルトキハ其現金ヲ管守スル出納本支局又ハ大藏省爲換方ヘ仕拂切符ヲ送致シ其遞送ヲ要求スルモノトス尤出納本支局又ハ大藏省現金取扱方所在地內ニ於テ甲廳ニ乙廳ヘノ遞送金ハ便宜各廳ニ於テ取扱フヘシ但海外ヘ遞送スヘキモノハ外國費金渡方規則ニ據ルヘシ

第壹圖（墨書ヘ不動文字。印ハ動文字）以下圖式皆仝シ

○何年何月何日　受取

第○何　號　傳票又ハ返納書　第○何　號

（○高金何程　○正貨幣ハ其種類ヲ明記ス）

一金○何程ノ內）

但○何年度通常經費或ハ臨業費何月分（又ハ旅費渡過何某ヨリ返納ノ分）

第○何　號一○傳票又ハ返納書　第○何　號

（○高金何程ノ內

一金○何程○（正貨幣ハ其種類ヲ明記ス）

但○云々（前ニ仝シ）

右現金本日受取正ニ管守候也

出納局

主任書記官○氏名印

○又ハ　何地支局長○氏名印

何地大藏省現金取扱方

○何某印

○各廳長官宛

第二圖

乙○　　甲○

第○何　號一　納入○何之誰

一金○何程○（正貨幣ハ其種類ヲ明記ス）

但○何々納付ノ分

右現金出納局（何地出納支局又ハ何地大藏省現金取扱方）ヘ相納領收ノ證印ヲ受ベク候也

但現金領收ノ證印ヲ受タル上ハ當廳ヘ返納ヲ了シタモノトス

何年何月何日　各廳會計主務官○氏名印

○右現金何程正ニ領收候也

出納局

何年何月何日　主任書記官○氏名印

第二圖

主務官押印截切ノ線

甲

一　第○何號　渡場所○何地大藏省現金取扱方（何々銀行）（何ノ誰）

一金○何程○（正貨幣ハ其種類ヲ明記ス）

○何年何月何日仕拂

第　何　號　渡　人　○何之誰

一金○何程○

但○云々

又ハ

○何地支局長氏名印

○何地大藏省現金取扱方

何某印

第三圖

仝

上

乙

一　第　何　號

一金○何程○（正貨幣ハ其種類ヲ明記ス）

右金員此證書引換ニ（大藏省出納局）（何地出納支局）（前記ノ現金取扱方）ニ於テ可相渡候也

但此切符ヲ授受スルモノハ裏書ノ趣相心得ヘシ

何年何月何日　各廳會計主務官氏名印

○

右金員仕拂切符本日振出シ候也

何年何月何日　各廳會計主務官○氏名印

出納局

主任書記官

又ハ　宛

第四圖

何地支局長

何地大藏省現金取扱方

第三圖甲號切符裏面

一此切符ヲ現金ニ引換ルノ期限ハ表面記載ノ日ヨリ向若干日ヲ限トス右期限中ハ何人ヲ問ハス取引勝手タルヘシ

一切符持參ノ者ヘハ何人ヲ不論證書引換ニ現金ヲ相渡スヘシ但休日及ヒ退廳時限後ハ引換ヲナサス

一此切符所持人ニ於テ萬一之ヲ紛失シタルトキハ速ニ番號及金額ヲ記載シタル書面ヲ以テ表面ニ記載シタル現金渡場所ヘ申出ヘシ然ルトキハ其事由ヲ取糺シ現金ヲ相渡スヿアルヘシ

一現金ハ在合セノ通貨ヲ渡スヘシ其種類明記アルモノハ此限ニアラス

第五圖

高殘		引差	高拂仕			高入受復重			高入受			高越リヨ月前			類種
厘	錢	圓	厘	錢	圓	厘	錢	圓	厘	錢	圓	厘	錢	圓	貨金
															貨銀圓壹
															貨銀助補
															幣紙貨銅

印名

表算決納出金現日何月何年何至日何月何年何從

氏長局支ハ又官記書任主局納出

日何月何年何

宛官務主計會廳各

各廳現金委託順序（各條中ノ點ノ文字ハ明治十六年五月第二十九號達ヲ以テ改正或ハ追加セシト知ルヘシ）

第一條　各廳現金ハ出納局主任書記官ヲシテ之ヲ取扱ハシムル故ニ受授スル證書ハ之カ署名ヲ以テスヘシ

第二條　委託ヲ受ケル各廳ニ於テ經費ヲ請求スルハ通例ノ請求書ヲ大藏省ニ送致スヘシ然ルトキハ出納局主任書記官其廳ニ代リ假受取證書ヲ以テ之ヲ受取而シテ其拂出切符（出納本支局又ハ各縣委託大藏省爲換方委託ノ官金ヨリ拂渡ス切符）又ハ第一圖ノ管守證書（一旦現金ヲ受取更ニ回送スヘキトキ之ヲ用ユ）ヲ其廳ニ送付ス其廳ハ之ヲ得テ出納局長ニ宛タル例規ノ受取證書ヲ送致ス出納局主任書記官ハ其受取證書ヲ得テ曩ノ假受取證書ト交換スルモノトス

第三條　各廳ニ於テ拂出切符若クハ管守證書ヲ得ルトキハ其拂出切符

出納局
主任書記官氏名印
又ハ
何地支局長氏名印
各廳長官宛

第六圖

何年何月何日
第何號
一金○何程○（正貨幣ハ其種類ヲ明記ス）
但前月ヨリ繰越高
〃

第何號
一金○何程○（正貨幣ハ其種類ヲ明記ス）
但前月ヨリ繰越高

右正ニ管守候也

押印截切ノ線

ハ指名セシ場所ニ就キ現金ト引換ヘシ（出納本支局渡ノ切符ハ各廳ノ便宜ニヨリ兩三度ニ分割引換ルヲ得ヘシ）其管守證書ニ對スル現金ハ更ニ出納局ヨリ各廳ヘ回送スヘシ

但出納局ノ都合ニヨリ其管守證書ニ對シ現金ヲ遞送セス更ニ他ノ送金手形又ハ拂出切符ニ換ヘテ回送スルコトアルヘシ

第四條　各廳通常ノ經費ハ大藏省現金配賦ノ都合ニヨリテハ既ニ送付シアル管守證書ニ對シ其金員ヲ兩三度ニ分割シテ遞送スルコトアルヘシ

第五條　大藏省ニ於テ各廳ノ支廳經費ヲ直接ニ其支廳ヘ委託スルトキハ其本廳ニ於テハ第二條ノ順序ヲ以テ交付ノ順序ヲ爲スヘシ

但本廳ヲ經テ委託セシ支廳モ之ニ準ス

第六條　各廳ニ於テ繰換假渡過渡等ノ如キ收入金アルトキハ重複受入ニ臨テ之ニ金員及番號年月日等ヲ記載シ會計主務官吏之ニ證印シ其仕拂切符甲號ハ受取人ヘ渡シ乙號ハ案內トシテ現金取扱掛若クハ爲換方ヘ送致スヘシ

第八條　現金取扱掛若クハ爲換方ニ於テ甲號切符ヲ受取人ヨリ受取タルトキハ其印鑑及乙號切符ニ照シテ後現金ト交換スヘシ萬一持參ノ切符ニ付事故有之トキハ各廳ニ於テ之レカ處分ノ手續ヲナスヘシ

但現金渡濟ノ切符ハ甲乙號共直ニ渡濟ノ印ヲ捺スヘシ

第九條　委託ヲ受タル各廳ハ年度及經費ノ科目ニ關セス其現金ノ受拂ヲ計算スル爲メ第五圖ノ如キ現金差引簿（現金ヲ領收セシトキ受入トシ現金ヲ拂渡セシトキ之ヲ拂出スヘシ尤爲換方ヲ置キタル各廳ハ日々爲換方ヨリ仕拂高ノ報告ヲ得テ之ヲ記入スヘシ）ヲ設ケ之ヲ整理シ而シテ每月第六圖ノ如キ報告表ヲ作リ之ニ第八圖ノ如キ內譯表ヲ添ヘ翌月二日迄ニ其廳ヲ發シ出納局長ヘ差出スヘシ尙又每年七月一日ヨリ翌年六月三十日ニ至ル年計表二通ヲ製シ七月三十一日迄ニ其廳ヲ發シ出納局長ヘ差出スヘシ出納局長ハ之ヲ精查決算ヲ了シタルモノトス

但諸省ヲ經由シテ交付スル府縣經費（土木營繕警察費ノ類）ハ其

府縣ニ於テ通常經費金ト併テ之ヲ計算スヘシ

第十條　第五條ニ依リ其支廳ヘ直接又ハ本廳ヲ經テ委託セシ分ハ總テ前條ノ順序ニ異ナルヿナシ尤本廳ト共ニ委託アル支廳ニ於テハ各々帳簿ヲ設ケ毎月第六圖及第八圖ノ如キ報告表ヲ作リ翌月二日迄ニ其廳ヲ發シ便宜出納局長ヘ直ニ差出スヘシ年表ノ如キモ亦之ニ準ス

第十一條　各廳經費金殘餘アリテ大藏省ヘ還納セントスルモノハ東京ニアル各廳ハ出納局ヘ其現金ヲ假納シ假納證書ヲ得之ヲ以テ本納ノ順序ヲナスヘシ東京外ニアル各廳ハ其現金ニ納金證書ヲ添ヘ大藏省爲換方ヘ納メ其納金證書ヘ領收ノ證印ヲ得テ本納順序ヲ爲スヘシ管理ノ諸省ヘ還納スヘキモノモ亦其現金ハ前同樣假納ヲナシテ其省ヘ還納ノ順序ヲ爲スヘシ

第一圖　墨書ハ不動文字。印ハ動文字　以下圖式畏仝シ

何年何月何日受取

第何號　傳票　第何號

○(高金何程ノ內)

一金。何程○(正貨幣ハ其種類ヲ明記ス)

書記官押印截切ノ線

○……○

但。何年度通常經費或ハ興業費何月分

第何號　傳票　第何號

(○高金何程ノ內)

一金。何程○(正貨幣ハ其種類ヲ明記ス)

但。云々　(前ニ仝シ)

右現金本日受取正ニ管守候也

何年何月何日　出納局主任書記官氏名印

各廳長官宛

主任押印

第二圖　第一圖　裏面

第三圖

主務官押印截切ノ線

表面ノ金額御遞送相成到着候條此證書及返戻候也

各廳長官

若シハ

何年何月何日

各廳會計主務官氏名印

出納局

主任書記官宛

何年何月何日仕拂　渡入　何之誰

第　何　號

一金　何程○

但　何々

○

全上

甲　第　何　號

一金　何程○（正貨幣ハ其種類ヲ明記ス）

右金員此證書引換ニ當廳何掛（又ハ當廳爲換方何々銀行）ニ於テ可相渡候也

但此切符ヲ授受スルモノハ裏書ノ趣ヲ相心得ヘシ

何年何月何日　各廳會計主務官氏名印

○

乙　第　何　號

一金　何程○（正貨幣ハ其種類ヲ明記ス）

右金員仕拂切符本日振出シ候也

何年何月何日

第四圖

第三圖甲號切符裏面

一此切符ヲ現金ニ引換ルノ期限ハ表面記載ノ日ヨリ向三十日ヲ限トス右期限中ハ何人ヲ問ハス取引勝手タルヘシ

一此切符持參ノ者ヘハ何人ヲ不論切符引換ニ現金ヲ相渡スヘシ但休日及ヒ退廳時限後ハ引換ヲナサス

一此切符所持人ニ於テ萬一之ヲ紛失シタルトキハ速ニ番號及ヒ金員ヲ記載シタル書面ヲ以テ表面ニ記載シタル官廳ヘ申出ヘシ然ルトキハ其事故ヲ取糺シ現金ヲ相渡スヲアルヘシ

一現金ハ有合ノ通貨ヲ渡スヘシ其種類明記アルモノハ此限ニアラス

各廳會計主務官○氏名印

何掛

又ハ

爲換方宛

第五圖

幣紙貨銅貨銀ハ又○貨銀圓壹

年月	號日	摘要	借 圓	借 錢	借 厘	貸 圓	貸 錢	貸 厘	殘 圓	殘 錢	殘 厘

第六圖（料紙適宜竪四寸五分横壹尺三寸位）

貨金

年月	號日	摘要	借 圓	借 錢	借 厘	貸 圓	貸 錢	貸 厘	殘 圓	殘 錢	殘 厘

表納出金現（日十三月六至日一月七從ハ又）中月

越高 圓	錢	厘	入高受 圓	錢	厘	拂高仕 圓	錢	厘	引殘差高 圓	錢	厘
1,000	00	0	500	00	0	300	00	0	1,200	00	0
2,000	00	0	600	00	0	400	00	0	2,200	00	0
3,000	00	0	700	00	0	500	00	0	3,200	00	0
4,000	00	0	800	00	0	600	00	0	4,200	00	0
10,000	00	0	2,600	00	0	1,800	00	0	10,800	00	0

出納局長宛　　各廳會計主務官氏名印
何年何月何日

何年何

類種	
貨	金
貨銀圓壹	
貨銀助補	
幣紙貨銅	
圓計總	

○此表ハ現金出納表中受入高ノ明細内譯ヲ掲記スベシ　○印朱書

出納局ヨリ受入タル金額ハ一廉毎ニ出納局仕拂切符又ハ送金手形現金遞送ヲ區分記載スヘシ

各廳直受高（一時繰換戻入又ハ過渡返納ノ類ヲ云フ）ハ切符現金等ヲ區分記載ニ及ハス一ケ月分合算シテ記載スヘシ

第七圖年計表裏面

印割

也候認承定勘ノ面

印名氏長局納出　宛官務

日何月何年何

表

各廳會計主

（料紙寸法共適宜）

第八圖

何年何月中現金受入高内譯表

種類	摘要	金員 圓	錢	厘
出納局切符第何號	本廳經費第何期分	1,000	00	0
仝上第何號	何々費	500	00	0
送金手形何葉	何々費	400	00	0
現金	何々費	600	00	0
	直受高	100	00	0
	總計圓	2,600	00	0

印名氏官務主計會廳各　宛長

日何月何年何

●鹿兒島縣伺
十九年五月十九日
本縣官祭招魂社ニハ別ニ神官ヲ置カス縣廳ニテ直轄スルニ付キ御省訓令第一號諸書ハ其主任官ヨリ差出サセ決算證明然ルヘキヤ

○內務省（指令）
五月二十七日

○第十節　神社營繕費等豫算差出方

明治十八年六月內務省甲第拾四號達

今般第拾壹號公達ヲ以テ豫算條規定メラレ候ニ付テハ當省ヘ差出スヘキ神社營繕費警部給與在府縣獄囚徒費警察費營繕土木費豫算ノ儀十九年度以降前年度四月三十日限リ十九年度八六月三十日マテ延期ス其地發遣各正副貳通差出スヘシ此旨相達候事

但警部給與並ニ在府縣獄囚徒費整理科目神社營繕費ノ分ハ追テ達スル之通心得ヘシ

整理科目表

項目	節
奏任俸給	
警部長	給額ヲ揭ク
俸給	
警部	給額ヲ以テ內譯ヲ分ツ
判任俸給	
警部補	同
御用掛	給額ヲ以テ內譯ヲ分ツ
傭員俸給	
各其官名及給額ヲ揭ク	
非職俸給	
諸給	
諸手當	
沖繩縣警部月手當	根室縣警部月手當
沖繩縣警部補月手當	根室縣警部補月手當
沖繩縣御用掛月手當	根室縣御用掛月手當
惠與	
勉勵賜金	賞與
祭粢料	死傷手當
旅費	
出張旅費	

招魂社祭典ハ神官ヲシテ取扱ハシメ其神官ノ證書ヲ以テ決算證明スヘシ

●三重縣伺
明治十九年五月二十日
今般御省訓令第十號ヲ以テ十八年以前ニ屬スル神社費及招魂社費殘金仕拂切ノ儀御達相成候ニ就テハ右決算整理科目ノ儀神社費ハ同費中某神社ノ中科目ヘ各「雜件」ノ小科目ヲ設ケ「仕拂殘